

教 養 教 育 科 目

科目 哲学A

担当 中 敬夫

回答した学生 41 名

受講登録者 77 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	10
4 90%くらい	13
3 80%くらい	12
2 70%くらい	5
1 60%以下	1
無回答	0
小計	41

設問	2	3
5 強くそう思う	4	7
4 ややそう思う	12	12
3 どちらともいえない	12	11
2 あまりそう思わない	10	9
1 まったくそう思わない	3	2
無回答	0	0
小計	41	41

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	11
4 ややそう思う	11
3 どちらともいえない	13
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	41

設問	5
5 ほぼ時間どおり	35
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	41

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	9	10	8	27	4	10	9
4 ややそう思う	12	15	14	7	9	15	14
3 どちらともいえない	11	11	9	5	19	11	15
2 あまりそう思わない	7	5	7	2	4	5	2
1 まったくそう思わない	1	0	3	0	5	0	1
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	41	41	41	41	41	41	41

授業科目	哲学A				担当者	中 敬夫	
開講時期	前期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

本年度前期「哲学 A」のテーマは、「倫理と感情 —— カントとシェーラー」である。まず 18 世紀のドイツの哲学者カントの倫理学について考察しつつ、倫理に関するそれまでの様々な考え方を学んだ後、20 世紀前半のドイツの哲学者シェーラーのカント批判を中心に、シェーラー自身の倫理学について考察してゆく。最後にシェーラーの「感情」や「他者」についての独自の考え方を見ておく。毎回、授業内容を要約したものと、関係内容を原典（邦訳）から抜粋コピーしたものとを、プリントにして配布し、学生の理解が容易になるよう、かつまた学生の関心が深まるように、工夫した。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席率は 80%以上の者が圧倒的に多かった。意欲的に取り組んだという学生、また興味・関心が高まったと答えた学生が、そうでない学生より、やや多かった。

(2) 授業について

シラバスは役立った、授業時間は正確に守られていた、話し方・スピードは適切であった、板書やプリントや資料は見やすかった、説明はわかりやすかった、教員はよく準備し熱心だった、教室・設備は適切だった、授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思った、と答えた学生が、そうでない学生より、はるかに多かった。ただ、コミュニケーションが取れていたか否かという質問に関しては、どちらとも言えないと答えた回答が多かった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

シラバスが役立った、内容が濃かった、プリントが詳細であった、資料が面白かった、教師の具体例が面白くて役に立った、等の意見があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

隣の授業（語学）がうるさかった、教室が狭かった、という意見があった。また教師が話すスピードを、もう少し遅めにしてほしい、という要望もあった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

コミュニケーションに関しては、講義授業という性格から、十分に取るのが難しいという面もあるが、なるべく学生の感想を拾い上げる努力はしてゆきたい。また話すスピードに関しても、授業全体の構成を考えると、時として早まることもあるのも仕方ないことかもしれないが、なるべく分かりやすくする努力はしたい。

4 その他、意見

アンケートを取る日は、20 分前に授業を終えなければならないという制約があるので、どうしても早口になってしまう。アンケートは 10 分あれば十分だと思う。また学生の方にも、その日だけの印象で答える傾向があるので、その点を考慮して結果を見なければならない面もあろう。

科目 哲学B

担当 中 敬夫

回答した学生 25 名

受講登録者 54 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	6
3 80%くらい	9
2 70%くらい	5
1 60%以下	2
無回答	0
小計	25

設問	2	3
5 強くそう思う	2	6
4 ややそう思う	9	6
3 どちらともいえない	8	9
2 あまりそう思わない	4	1
1 まったくそう思わない	2	3
無回答	0	0
小計	25	25

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	5
4 ややそう思う	11
3 どちらともいえない	5
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	25

設問	5
5 ほぼ時間どおり	21
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	25

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	6	5	6	12	4	5	6
4 ややそう思う	11	10	10	10	7	6	10
3 どちらともいえない	5	6	6	2	7	5	6
2 あまりそう思わない	2	3	2	1	6	7	3
1 まったくそう思わない	0	1	1	0	1	2	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	25	25	25	25	25	25	25

授業科目	哲学B				担当者	中 敬夫	
開講時期	後期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

本年度後期「哲学B」のテーマは、「現代哲学における「他者」問題の動向」である。現代哲学における「他者」問題の動向を、近世哲学の始祖デカルトから始めて、検討してゆく。実際に扱ったのは、主としてデカルト、フッサール、サルトル、ハイデッガー、レヴィナスの五人であるが、間にマリオンやヘルト等の解釈も交えていった。毎回、授業内容を要約したものと、関係内容を原典（邦訳）から抜粋コピーしたものとを、プリントにして配布し、学生の理解が容易になるよう、かつまた学生の関心が深まるように、工夫した。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

出席率は80%以上と答えた学生が圧倒的に多かった。意欲的に取り組んだという学生が、そうでないと答えた学生より多かったが、どちらとも言えないと答えた学生も相当いた。また興味・関心を持ったという学生が、そうでないと答えた学生より圧倒的に多かったが、どちらとも言えないと答えた学生もかなりいた。

（2）授業について

シラバスは役立った、授業時間は正確に守られていた、話し方・スピードは適切であった、板書やプリントや資料は見やすかった、説明はわかりやすかった、教員はよく準備し熱心だった、教室・設備は適切だった、授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思った、と答えた学生が、そうでない学生より、はるかに多かった。ただ、コミュニケーションが取れていたか否かという質問に関してだけ、評価が分れた。

（3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

哲学者への興味が沸いた、面白かった、教師が学生の顔を注意深く見ていたのが良かった、熱心に解説してくれたので難しい言い回しも理解できた、等の意見があった。

（4）自由記述より学生からの要望について

寒い、暖房を見直して欲しい、等の意見があった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

コミュニケーションに関しては、講義授業という性格から、十分に取るのが難しい面もあるが、なるべく学生の感想を拾い上げる努力はしてゆきたい。

4 その他、意見

後期「哲学B」は、前期「哲学A」より、受講生がずっと減ってしまったのだが、その分真面目な学生が多かったように思う。試験の答案に関しても、今までにあまりなかったほど、授業の内容を良く理解して書いてきた優秀な答案が二つあった。教える側としても、記憶に残りそうな授業であった。

科目 日本文化史A

担当 二瓶 浩明

回答した学生 20 名

受講登録者 41 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	2
4 90%くらい	5
3 80%くらい	5
2 70%くらい	8
1 60%以下	0
無回答	0
小計	20

設問	2	3
5 強くそう思う	2	7
4 ややそう思う	5	7
3 どちらともいえない	6	4
2 あまりそう思わない	7	2
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	20	20

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	5
4 ややそう思う	7
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	20

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	4
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	20

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	13	11	14	19	5	10	13
4 ややそう思う	5	8	6	1	7	6	5
3 どちらともいえない	1	1	0	0	5	2	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	2	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	20	20	20	20	20	20	20

授業科目	日本文化史 A				担当者	二瓶 浩明	
開講時期	前期	曜日	金	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 今年度は＜青春と挫折＞というテーマで、青年期の悩みや、若い人たちの生き方について、遺された日記や、書簡を読んでゆくという試みを行なっている。高野悦子「二十歳の原点」、浮谷東次郎「オートバイと初恋と」、原口統三「二十歳のエチュード」、岸上大作「意志表示」、永山則夫「無知の涙」、山田かまち「山田かまちのノート」、奥浩平「青春の墓標」、宮崎勤「夢の中」、岡真史「ぼくは12歳」、一ノ瀬泰三「地雷を踏んだらサヨウナラ」等を読み、まとめとして東大の学生たちが有名無名を問わず、「あなたは二十歳のころ、何をしていましたか」というインタビューを試み、それをまとめた本「二十歳のころ」を取り上げた。すべての教材はなかなか面白く、かつ深刻な内容であり、出席カードの片隅などに、色々と考えさせられた、とのコメントが多く寄せられて、それを当初からの目的としていたとはいえ、学生たちの現在、将来の悩みの深さ、大きさを思い知ることになったのはとても興味深いことであった。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 金曜の授業だということで、毎回出席する率の少ないのが気になる。

(2) 授業について
 問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」の回答については、20名回答中、「強くそう思う」が19名、「ややそう思う」が1名で、教師冥利に尽きる感があり、嬉しく思っている。
 問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」についても高い評価を得た。
 ただ、私にとっては反省がない訳ではなく、第1回目の授業において、まさに教室に溢れんばかりの受講希望者がいたにもかかわらず、抽選の結果、受講の許可者が3分の1になってしまったことがそれだ。いやはや、抽選をやり直し、もっと人数を増やすこともできずに、惜しいことをしてしまった。結構ためになる内容で、学生にとってはとても有用で、考える契機を与えることができたかもしれなかったのだが、人数調節は難しいものだ。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて
 「先生が熱心でした!」「取り扱っている内容がとてもおもしろいものであるところ」、以上2件の記述があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 設備等については格別言うべきものを持たない。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)
 今後ともちゃんとするつもりである。

4 その他、意見
 格別なし。

科目 日本文化史B

担当 二瓶 浩明

回答した学生 22 名

受講登録者 64 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	7
3 80%くらい	7
2 70%くらい	4
1 60%以下	1
無回答	0
小計	22

設問	2	3
5 強くそう思う	7	12
4 ややそう思う	8	8
3 どちらともいえない	6	2
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	22	22

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	10
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	5
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	22

設問	5
5 ほぼ時間どおり	20
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	22

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	19	14	16	21	12	6	13
4 ややそう思う	3	6	6	1	3	7	8
3 どちらともいえない	0	2	0	0	6	3	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	1	4	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	22	22	22	22	22	22	22

授業科目	日本文化史 B				担当者	二瓶 浩明	
開講時期	後期	曜日	金	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 今年度は「戦後思想の名著を読む」というテーマで、日本の「現在」をかたちづくり、またそれを見つめ、指導してきた思想や考え方を点検するという試みを行なった。これは私にとっても、初めて授業の対象とするもので、学生たちがどんな反応を示すのか楽しみであった授業である。坂口安吾「墮落論」、戦没学生「きけわだつみのこえ」、無着成恭「山びこ学校」、小田実「何でも見てやろう」、大江健三郎「ヒロシマノート」、鶴見良行「バナナと日本人」、江藤淳「成熟と喪失」、金時鐘「在日のはざまで」、松田道雄「育児の百科」、石牟礼道子「苦海浄土」、加藤周一「羊の歌」、田中美津「いのちの女たちへ」等を読み、学生たちにこれは一体何を考えているのか、どういう意味があるのか、と問いかける試みを行なった。学生たちはどんな風に考えたのだろう。まさに問題は、何ひとつ解決されていない、という思いを深くしたかもしれない。考えるということ、これが生きてゆく根本的なあり方だ。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 金曜の授業だということで、毎回出席する率の少ないのが気にかかる。
(2) 授業について
 問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」の回答については、22名回答中、「強くそう思う」が21名、「ややそう思う」が1名で、教師冥利に尽きる感があり、嬉しく思っている。問8「教員の説明の仕方はわかりやすかったですか」については、22名中、「強くそう思う」が16名、「ややそう思う」が6名。問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」についても「強くそう思う」が13名、「ややそう思う」が8名であり、高い評価を得たが、こういう授業が私にとっては、教員生活で初めて取り上げたものであっただけに嬉しいものだ。
 微調整をしながら教材を考え、当初予定していた花田清輝「復興期の精神」と吉本隆明「共同幻想論」は、学生たちには、チトと難しいかなと考え、別教材と取り替えたが、これは妥当だろう。観念的な操作を苦手とする者が多いからだ。
(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 「プリントの内容が面白かったです」「毎回のレジュメ」「教授の方が熱心でユーモアがあり、授業にあきることがない」「♥先生♥」「日本の様々な問題について知り、理解を深めることができた」「興味のわく問題を紹介してくれるので、授業後にもその文ののっている本を読みたくなったりした。おもしろかったです」、こうした記述があった。ヒットして良かった。
 1件「少し弱者に寄りすぎというか、弱者（とされてしまう人々）の視点は確かに重要だけど、そこへの片寄りを感じました」という意見があつて、そうかもしれないな、と思う。しかし、思想とは逆境に置かれた人間がそれに堪え、生き抜こうとしたときに初めて生ずるものであって、何の問題もないところ、疑問を感じないところには生まれないのだ。若い人たちには、安っぽい出来合いの思想や宗教なぞを購入して欲しくないと思つてもいる。
(4) 自由記述より学生からの要望について
 「暖房が十分でない」という要望が1件あつたが、大学の設備等について、格別言うべきものを持たない。というよりも、問15「授業に関して施設設備などに対する要望などがあれば書いてください」は、まったくもって不要なものであり、大学は自らのテイタラクぶりを恥ずかしく思うべきだ。こんなことを書いてもまるっきり話は通じないんだらうな、と、かえってこんなことを言わねばならない自分の方が恥ずかしくなってくる始末である。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)
 今後ともちゃんとするつもりである。

4 その他、意見
 格別なし。

科目 日本文学

担当 二瓶 浩明

回答した学生 45 名

受講登録者 53 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	12
4 90%くらい	15
3 80%くらい	9
2 70%くらい	9
1 60%以下	0
無回答	0
小計	45

設問	2	3
5 強くそう思う	9	21
4 ややそう思う	18	16
3 どちらともいえない	10	7
2 あまりそう思わない	7	1
1 まったくそう思わない	1	0
無回答	0	0
小計	45	45

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	17
4 ややそう思う	15
3 どちらともいえない	8
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	45

設問	5
5 ほぼ時間どおり	30
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	8
1 よくわからない	2
無回答	0
小計	45

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	30	24	27	32	10	23	25
4 ややそう思う	11	15	17	12	18	17	19
3 どちらともいえない	2	6	0	0	10	3	1
2 あまりそう思わない	1	0	1	0	4	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	1	3	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	45	45	45	45	45	45	45

授業科目	日本文学				担当者	二瓶 浩明	
開講時期	前期	曜日	月	時限	5	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 本年度のテーマは＜夢見る日本近現代文学＞というもので、夏目漱石「夢十夜」、折口信夫「死者の書」、谷崎潤一郎「母を恋ふる記」、宮沢賢治「銀河鉄道の夜」、夢野久作「ドグラマグラ」、津島祐子「大いなる夢よ光よ」、よしもとばなな「白河夜船」、宮本輝「春の夢」、長野まゆみ「少年アリス」、川上弘美「いとしい」等を取り上げた。すべてが名作といえるもので、学生たちにも随分と好評であったことを喜んでいる。「夢」というキーワードを中心に、日本の近現代文学の発展、特徴について論じ、学生たちと一緒に読んでいる。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 学生の気質、傾向については、格別変わったことはなく、例年通りであろう。 問2「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・感心が高まりましたか。」について、回答者45名中、「強くそう思う」が21名、「ややそう思う」が16名いて、まあ、良かったと安堵している。 (2) 授業について 問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、45名回答中、「強くそう思う」が25名、「ややそう思う」が19名、「どちらともいえない」が1名であった。まあ、学生たちに受け入れられているのではないかと安心。今年は、何でも文句をつけたがるヤツがいないことにホッとしているが、ネガティブな評価というものは、人を傷つけることを知るべきだろう。FD、授業改善とは、前向きでなければならず、アンケートの発問の仕方について、再検討すべき時期がきているように思われる。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 「いろんな本にふれられて、すごくためになったこと」「先生の授業を受けて、作品への興味がわきました」「小説をたくさん聞けて開設もおもしろく、分かりやすかった」等、問13「この授業で特によかった点があれば書いてください」の回答7件のうち、すべてが好評であったことは嬉しいことだ。 (4) 自由記述より学生からの要望について 授業への改善要望については1件あって、「全文音読しなくていいです」というもの。これにはあまり応じたくない気持ちがあって、私の授業は当日、資料を配布するのだが、文字面を読めば意味は判るとはいうものの、「声」に出して読むことによって、より理解は深くなるはずだ、というのが私の考え方である。とくに文学作品について言うならば、このことはとても重要なのだが、決めつけることなく、ゆっくりと検討してみたい。 施設設備に関する要望については、何とも応えることができないが、DVDデッキやプロジェクター等に関する改善要求については予算要求して、随分と改善されているはずだ。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 毎年、何を、どんな風に授業するかについては、真摯な反省をし、熟考しているつもりであるが、今後ともこのことについて、虚心に考え続けてゆきたいと思っている。 4 その他、意見 格別なし。							

科目 日本演劇論

担当 二瓶 浩明

回答した学生 23 名

受講登録者 50 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	7
3 80%くらい	7
2 70%くらい	4
1 60%以下	1
無回答	0
小計	23

設問	2	3
5 強くそう思う	4	12
4 ややそう思う	9	5
3 どちらともいえない	5	4
2 あまりそう思わない	4	1
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	23	23

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	6
4 ややそう思う	7
3 どちらともいえない	5
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	23

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	8
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	2
1 よくわからない	3
無回答	0
小計	23

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	12	6	14	17	8	5	8
4 ややそう思う	6	8	6	4	4	9	13
3 どちらともいえない	4	8	2	2	11	7	2
2 あまりそう思わない	0	1	1	0	0	2	0
1 まったくそう思わない	1	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	23	23	23	23	23	23	23

授業科目	日本演劇論				担当者	二瓶 浩明		
開講時期	前期	曜日	金	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業はいつも「演劇、舞台芸術とは何か」ということをテーマとして、原理、原論的なことを教えている。今年から「西洋演劇論」という新しい授業が増えて、この旧「演劇論」は「日本演劇論」という名称で、古典演劇を中心に教えることになったが、私は古典演劇を知ることなく、日本の演劇の特質を学ぶことができないはずだ、と思っているものの、学生たちの食いつきが鈍くて困っている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」という問いに、23名の回答中、「あまりそう思わない」が1名、「まったくそう思わない」が1名いて、これにはウンザリさせられ、怒りすら込み上げてきたが、まあ、こういう学生が混じっていることは如何ともし難いものだ。こういうヤツには来て欲しくないし、学ぶ喜びを知らないのだから、そもそもが論外なのだが、教育というサービス業もなかなか辛いものがあると言えようか。

(2) 授業について

とはいえ、問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、回答23名中「強くそう思う」が8名、「ややそう思う」が13名いて、「どちらともいえない」が残りの2名だというのだから、こういう困ったヤツも、授業全般については、まあまあ程度の判断をしているのかもしれないな、という気がする。まあ、良いや。後期の授業を頑張ろう。こういった学生は、もう来ないと良いなー、と願っている。

私としては常々、面白い授業をしたいとは思っているが、どうにも受動的で、意欲の乏しい者たちがだんだんと増えていっている事実には頭が痛い思いがする。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

問13「この授業で特によかった点があれば書いてください」に対して、回答は7件。「先生の話がわかりやすくて良かった」「鑑賞資料が豊富で楽しめた」「ビデオをたくさん見せてくれた所が良かった」「もっと様々な演劇が見てみたいと思えるようになりました」「先生の身体を使った講義。劇のDVD鑑賞」「たくさんビデオとか見られてたのしかった」「色々なDVDをみせてもらえたのでとてもおもしろかったと思います」というもので、映像の重要性については理解しているものの、実はもっと講義、解説の分量を多くしたいと思っていて、この割合が結構、厄介なのだ。授業を進める上では、いつもこのことを考えている。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「板書がややわかりにくい」という意見が1件あった。これは私の授業の全般的な欠点で、本人も自覚しているつもり。改善します。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

今年から「演劇論」は、「日本演劇論」と「西洋演劇論」という二種の授業を用意することになったせいで、この授業＝「日本演劇論」は、古典演劇、すなわち能狂言、文楽、歌舞伎等についてより多くの時間を費やすようになったのだが、学生たちの多くがあまりこれに興味を示さないのは気になるところ。ここら辺について、じっくり考えてゆきたい。

4 その他、意見

格別なし。

科目 日本古典文芸

担当 二瓶 浩明

回答した学生 25 名

受講登録者 49 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	10
3 80%くらい	6
2 70%くらい	6
1 60%以下	0
無回答	0
小計	25

設問	2	3
5 強くそう思う	3	5
4 ややそう思う	11	16
3 どちらともいえない	10	3
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	25	25

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	7
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	10
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	25

設問	5
5 ほぼ時間どおり	17
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	25

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	18	12	15	19	9	9	13
4 ややそう思う	5	8	6	5	9	10	10
3 どちらともいえない	2	4	4	1	7	3	2
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	0	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	25	25	25	25	25	25	25

授業科目	日本の古典文芸				担当者	二瓶 浩明		
開講時期	後期	曜日	月	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 本年度のテーマは、＜日本古典文学と旅＞というもので、さまざまな時代に生み出された古典作品を「旅」という観点から読み直そうとするものであった。「古事記」倭建命の物語、「伊勢物語」東下りの段、「土左日記」、「源氏物語」須磨の巻、「更級日記」、「平家物語」、「方丈記」、謡曲、西行、お伽草子、西鶴「好色一代男」、風来山人「風流志道伝」、「東海道中膝栗毛」等を取り上げた。日本の古典文学の代表的な名作をほぼ網羅的に取り上げ、もって通史的な文学への理解・知識を深め、古典文学への関心をつちかおうとする目的を持っている。このことは学生たちにも理解してもらえたようであり、名前しか知らない作品の面白さとそれへの関心を伝え得たかと信じている。								
2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 学生の気質、傾向については、格別変わったことはなく、例年通りであろう。 問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」について、回答者25名中、「強くそう思う」が5名、「ややそう思う」が16名いて、まあ、良かったと安堵している。 もちろん私としては、作品の講読というかたちで、より丁寧な、深化した議論のやり取りをしたい希望はあるのだが、学生たちの多くが、古文の読解という基礎的な能力が欠如している以上、解説的、概説的にならざるを得ないのは仕方がない。とはいえ、こういう学生たちだからこそ、魅力的かつ興味が深まるような授業をしなければならないのだ、と身の引き締まるような思いをしていることも事実である。								
(2) 授業について 問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、25名回答中、「強くそう思う」が13名、「ややそう思う」が10名、「どちらともいえない」が2名であった。とりあえずは、安心といったところか。ただ、問5「授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか」については、「ほぼ時間どおり」が17名、「延長することが多い」が3名、「開始が遅いことが多い」が3名、「早く終わることが多い」が1名、「よくわからない」が1名という結果で、見事なまでに回答がバラバラであるのは、この授業の前の時間（月・4）に、随時依頼され、それに応えている日本画専攻1年生のための「作文指導」があるからで、学生たちにはこのことを告げてはいるのだが、まるでこうした事情が理解されていないことが判然とする。来年度以降は周知徹底したいと思う。								
(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 「話がわかり易く、その時代の生活や考え方がイメージし易く面白いです」「“旅”という概念がよく分かった」「先生が面白い」といった意見があった。有難いものだ。								
(4) 自由記述より学生からの要望について 授業への改善要望については1件あって、「もうすこし、分かりやすく、板書してもらえると助かります」というもの。確かにその通り。改善したいと思う。 施設設備に関する要望については、もはや不要な問いかけであろう。不満があるのは当たり前のことで、大学執行部に猛省を促したいものだ。もっともこうした意見が彼らに届かないというのだから、始末に悪いと言うべきか。								
3 今後の授業の工夫・改善（FD） 毎年、何を、どんな風に授業するかについては、真摯な反省をし、熟考しているつもりであるが、今後ともこのことについて、虚心に考え続けてゆきたいと思っている。								
4 その他、意見 格別なし。								

科目 日本近現代演劇

担当 二瓶 浩明

回答した学生 21 名

受講登録者 65 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	6
3 80%くらい	5
2 70%くらい	7
1 60%以下	2
無回答	0
小計	21

設問	2	3
5 強くそう思う	6	14
4 ややそう思う	10	4
3 どちらともいえない	4	2
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	21	21

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	9
4 ややそう思う	7
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	21

設問	5
5 ほぼ時間どおり	10
4 延長することが多い	6
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	2
無回答	1
小計	21

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	11	11	11	15	9	4	14
4 ややそう思う	6	5	6	3	4	4	3
3 どちらともいえない	4	5	4	3	6	7	4
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	2	3	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	21	21	21	21	21	21	21

授業科目	日本の近現代演劇				担当者	二瓶 浩明		
開講時期	後期	曜日	金	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 本年度のこの授業は、日本近現代の劇作家や演出家のさまざまな演劇観を知ることがテーマとし、演劇の多様性や可能性について、学生たちと一緒に考えている。千田是也「演劇入門」、扇田昭彦「日本の現代演劇」、鈴木忠志「演劇とは何か」、平田オリザ「演劇入門」、栗山民也「演出家の時代」、木下順二「“劇的”とは」等を教材とし、随時、現代演劇の名作や歴史的に価値あるものを、DVD やビデオで見せている。状況劇場紅テント「ジャガーの眼」、黒テント「メザスヒカリノサキニアルモノ、若シクハパラダイス」、NODA MAP「農業少女」、維新派「ROMANCE」等を上映した。この授業を受講することによって、学生たちが演劇という芸術ジャンルのもつ面白さ、意義を多角的に考えられるように配慮している。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」という問いに、21名の回答中、「あまりそう思わない」が2名、「まったくそう思わない」が1名いて、これは一体どうしたことだろう。残り18名は高い評価をしているのであるが、教員というものは、案外、否定的な評価を気にするところがある。まっ、良いか。 (2) 授業について 問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、回答21名中「強くそう思う」が14名、「ややそう思う」が3名いて、「どちらともいえない」が残りの4名という結果であった。フーンという感じ。「どちらともいえない」という回答は、問8の説明の仕方、問9教員の熱心さにもそれぞれ3、4名いて、私は実は、こういう受動的で、はっきりしない学生が苦手であるのだが、大多数が支持してくれているので、まー、我慢しよう。 問4「シラバスは授業の選択に役立ちましたか」という問いかけは、学生全員にシラバスを配布して初めて意味のあることだ。この授業に限らず、他の授業においてもあまり参照されていないようだ。履修登録期間が終わった段階で、広く学生たちにアンケートでも実施した方が良さだろう。印刷する金がないなどと弁解するようでは、授業を「選択」とするという趣旨が、まるで生かされていないと言わざるを得ない。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 問13「この授業で特によかった点があれば書いてください」に対して、「県芸にいたとなかなかふれる事のない演劇について、わかりやすく語ってくれて、すてきな授業だったと思います」「先生がお茶目」「演劇という関係の内から、自分の専攻と関連付けて考えることができた」という回答があった。有り難うさんね。 この授業は、私の他の授業に比べて、受講学生が、3年生、4年生の割合が高いのであるが、私としては、文学関係は1、2年生が多くて構わないのだが、この授業は、そろそろ卒業して外へ出て行かなくてはならない、自分が学んでいる専攻の授業に不満を感じ、将来に不安を覚えている、という3年生、4年生に取ってもらいたいと思っていて、その限りでは、こうした傾向に格別の不満はないのだが、この学生たちの出席状況がかんばしくないのは困りもの。まっ、仕方ないと言うべきか。 (4) 自由記述より学生からの要望について 問15の施設設備に対する要望が、6件あった。ほとんどが「寒い」というもので、これはこの授業が、現代演劇作品の上映をする際には授業時間を延長することが多いから、という理由によるもので、週末のこの時間に講義棟で授業をしているものは私だけなので、教員としては暖かい格好をしてくるように、飲み物を買って来ても良い、ということはあるものの、やはり寒くて、ほんと閉口する。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） これからはちゃんとするつもり。来年度は、今までにしたことのない新しい教材を使用し、新テーマで授業することを企画している。 4 その他、意見 格別なし。								

科目 外国文学A

担当 内田 善孝

回答した学生 12 名

受講登録者 19 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	5
4 90%くらい	6
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	12

設問	2	3
5 強くそう思う	4	8
4 ややそう思う	6	3
3 どちらともいえない	2	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	6
4 ややそう思う	2
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	3
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	12

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	10	8	9	9	8	4	9
4 ややそう思う	2	2	2	2	2	5	3
3 どちらともいえない	0	2	1	1	2	3	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

授業科目	外国文学A				担当者	内田 善孝	
開講時期	前期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 福音書を読みながら、キリスト教美術を鑑賞する授業です。一方的な説明に終わるのではなく、できるだけ学生に質問をし、彼らに考えるように授業を進めています。 常識として思われていることが、実はそうではなく、常に疑問を持ち、常識を疑うことが大切であることを教えたいと思います。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ほとんどの学生が毎回出席しているので、授業の内容が彼らの興味をそそっていると思います。 ですから授業で扱われた内容への関心が高まったかどうかについての質問には、すべての学生が高まったと答えています。 (2) 授業について 授業全般についての学生からの評価は、「強くそう思う」が75%、「ややそう思う」が25%で、ほとんどすべての学生が満足しています。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・聖書について関心をもつことができた。 ・スライドが美しかった。 ・勉強する内容がとても興味深いもので、とても楽しかったです。勉強になりました。 ・聖書について多くの知識が得られたこと。 ・いろんな画像が見られたこと ・キリスト美術の作品をたくさん見せてくれるところ。 (4) 自由記述より学生からの要望について ・芸術資料館演習室は寒いです。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 学生にもっと質問をして、彼らが考える時間を増やしたい。 4 その他、意見							

科目 外国文学B

担当 内田 善孝

回答した学生 11 名

受講登録者 20 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	6
3 80%くらい	2
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	11

設問	2	3
5 強くそう思う	6	9
4 ややそう思う	5	1
3 どちらともいえない	0	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	5
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	3
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	11

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	11

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	10	8	8	10	8	2	8
4 ややそう思う	1	2	3	1	2	4	3
3 どちらともいえない	0	1	0	0	0	3	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	1	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11

授業科目	外国文学B				担当者	内田 善孝	
開講時期	後期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

ボードレールの『悪の花』の数編の詩を読む授業です。芸術大学の学生が対象なので、詩と関連する美術作品を準備し、視覚的に詩を説明するよう工夫しています。

もうひとつの工夫は、参加型の授業です。私が詩の解釈をする前に、学生に質問の用紙を配布し、きちんと問題の詩を読み、質問に答え、ある程度自分の考えを整理する時間をとってあります。そのあとで学生に質問をしながら、解釈を進めます。こうすれば学生は聞くだけの受け身的な授業ではなく、考える授業になります。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

大体の学生が80%以上の出席率で、休まずに出席していることが分かります。

(2) 授業について

授業を受けた後の授業への関心は非常に高く、ほとんどが「強くそう思う」となっています。さらに授業をよく準備しているかどうかの設問に対し、ほとんどが「強くそう思う」を選んでいました。ということは授業が分かりやすく準備され、説明されているので、学生は関心を持って授業に参加しているのだと思います。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・ 芸術家とは何か、よく考えることができた。とても良い授業です。

(4) 自由記述より学生からの要望について

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

現在のやり方を続ける中で、もっと学生の考えを引き出すようにする。

4 その他、意見

科目 言語学A

担当 井土 慎二

回答した学生 21 名

受講登録者 30 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	6
4 90%くらい	7
3 80%くらい	3
2 70%くらい	5
1 60%以下	0
無回答	0
小計	21

設問	2	3
5 強くそう思う	3	4
4 ややそう思う	7	10
3 どちらともいえない	5	2
2 あまりそう思わない	5	5
1 まったくそう思わない	1	0
無回答	0	0
小計	21	21

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	5
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	5
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	21

設問	5
5 ほぼ時間どおり	19
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	21

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	3	2	2	9	1	3	4
4 ややそう思う	10	9	6	8	9	3	11
3 どちらともいえない	7	6	7	2	4	7	5
2 あまりそう思わない	0	4	5	1	6	7	1
1 まったくそう思わない	1	0	1	1	1	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	21	21	21	21	21	21	21

授業科目	言語学A				担当者		井土 慎二	
開講時期	前期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

言語学内の様々な分野を概観し、個別の言語の理解に資することを目的とし、言語学の言語学の各分野がどのような問題に取り組んでいるかを理解することを目指す。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席率が高い学生と低い学生にわかれた。言語学が自然科学的な興味と手法をもって言語を探究する分野であることの周知が必要だと感じた。

(2) 授業について

講義内容の抽象性の高さを感じさせないように説明をさらにわかりやすくする必要を感じた。また音声や映像を多用するこの講義にはさらなる機器の増強が必要だと感じた。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

多くの記述があり、肯定的なものが多かった。「新鮮」や「楽しい」という記述が複数の学生から寄せられ、とくに「興味深い」や「興味・関心を強めた」といった記述が目立った。

(4) 自由記述より学生からの要望について

難解である、説明を簡単にしてほしい、難しい、などの記述があった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

シラバスに言語学があまり文系向きの分野ではないことを明記する。噛み砕いた説明をしたい。

4 その他、意見

特になし。

科目 言語学B

担当 井土 慎二

回答した学生 6 名

受講登録者 18 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	0
4 90%くらい	3
3 80%くらい	2
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	6

設問	2	3
5 強くそう思う	1	0
4 ややそう思う	2	5
3 どちらともいえない	3	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	6	6

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	2
3 どちらともいえない	3
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	6

設問	5
5 ほぼ時間どおり	6
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	6

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	1	0	0	4	2	1	1
4 ややそう思う	2	1	3	1	4	2	5
3 どちらともいえない	3	4	3	1	0	3	0
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	6	6	6	6	6	6	6

授業科目	言語学B				担当者	井土 慎二		
開講時期	後期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

言語学内の様々な分野を概観し、個別の言語の理解に資することを目的とし、言語学の言語学の各分野がどのような問題に取り組んでいるかを理解することを目標とする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

言語学Aを受講済みの学生のみを受講であったため、受講生の多くには言語学が自然科学的な興味と手法をもって言語を探究する分野であることが了解済みであった。このため、言語学A開講時のように文学的な興味を持って受講を決めたように見える学生が少なく、興味を持って受講をする学生が相対的に多かった。

(2) 授業について

肯定的な評価が100パーセントを占めたので、全般的には良かった。教員の授業準備や熱心さが評価に反映されたと感じる。講義内容の抽象性の高さのせいもあるが、説明のわかりやすさには課題が残る。また、教室や設備はテレビ設置後かなり使いやすくなったとはいえ、音声や映像を多用するこの講義にはさらなる機器の増強が必要だと感じた。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

自由記述で指摘されたように、受講人数が言語学Aのときより減ったため、少人数の教室になり、授業の質が大きく高まったと感じる。

(4) 自由記述より学生からの要望について

該当せず。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

説明の補助となる音声や映像関連の機器の充実を図る。シラバスに言語学があまり文系向きの分野ではないことを明記する。

4 その他、意見

特になし。

科目 心理学A

担当 三宮 敦生

回答した学生 70 名

受講登録者 82 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	36
4 90%くらい	19
3 80%くらい	14
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	70

設問	2	3
5 強くそう思う	35	42
4 ややそう思う	21	22
3 どちらともいえない	13	5
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	70	70

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	28
4 ややそう思う	17
3 どちらともいえない	17
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	70

設問	5
5 ほぼ時間どおり	57
4 延長することが多い	7
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	2
小計	70

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	54	45	55	56	33	40	51
4 ややそう思う	15	16	11	12	13	17	16
3 どちらともいえない	0	6	3	1	15	10	2
2 あまりそう思わない	1	3	1	1	7	1	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	2	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	70	70	70	70	70	70	70

授業科目	心理学A				担当者	三宮 敦生		
開講時期	前期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 本授業の目標は、メンタルヘルスをめぐる諸問題について理解し、その知見を日常生活に活かすことができることである。到達目標は以下の5点である。1)ビッグファイブ理論を利用して、性格とメンタルヘルスの関連を理解する。2)ストレスの概要について、心理学的観点から理解する。3)精神病理の概要を述べることができる。4)認知行動療法について述べるができる。5)いくつかの簡単な心理テストを通して、自分への理解が深まる。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ・出席率 90%以上の受講者が 79%であった。全体的に出席率は良好であったと思われる。 ・「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」に対して、「強くそう思う」が 50%、「ややそう思う」が 30%であった。かなり意欲的な受講態度であったと思われる。 ・「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」に対して、「強くそう思う」が 60%、「ややそう思う」が 31%であった。この授業は受講者の興味・関心を高めるのに成功したと言えると思われる。 (2) 授業について ・「シラバスは授業の選択に役立ちましたか」に対して、「強くそう思う」が 40%、「ややそう思う」が 24%、「どちらともいえない」が 24%であった。約三分の二の受講者にシラバスは役立っていたようである。 ・「授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか」に対して、「ほぼ時間どおり」が 81%であった。 ・「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 77%、「ややそう思う」が 21%であった。話し方やスピードは十分適切だったと思われる。 ・「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 64%、「ややそう思う」が 23%であった。大人数の授業の割には板書への不満は少なかった。 ・「教員の説明の仕方は分かりやすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 79%、「ややそう思う」が 16%であった。受講者はこの授業をよく理解していたといえる結果である。 ・「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対して、「強くそう思う」が 80%、「ややそう思う」が 17%であった。教員の熱意が受講者に十分伝わっていたといえる結果である。 ・「教員とコミュニケーションはとれていましたか」に対して、「強くそう思う」が 47%、「ややそう思う」が 19%、「どちらともいえない」が 21%であった。大人数の講義にしては、健闘している結果だと思われる。 ・「教室・設備については適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 57%、「ややそう思う」が 24%であった。なぜ「強くそう思う」が半数を超えているのか理解できない。 ・「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」に対して、「強くそう思う」が 73%、「ややそう思う」が 23%であった。まずまずの結果だと思われる。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・「授業の流れがよい」、「心理テストを盛り込みながらの授業が楽しかった」、「自分のメンタル面の鍛え方が知ることができてよかった」等の声が寄せられた。 (4) 自由記述より学生からの要望について ・「黒板が少し見にくい」という意見が 1 件寄せられた。黒板の上下の幅が小さいので、図を書いて説明するとき、字が小さくなりがちであった。 3 今後の授業の工夫・改善 (FD) ・今年度の心理学Aはまずまず狙いどおりの授業ができたし、学生の評価もそれを反映していると思われる。あえて今後への課題を見出すとすれば、最新の情報を適宜加えていくことと、内容のさらなる精選であろうか。 4 その他、意見 ・特になし。								

科目 心理学B

担当 三宮 敦生

回答した学生 49 名

受講登録者 66 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	12
4 90%くらい	21
3 80%くらい	13
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	49

設問	2	3
5 強くそう思う	20	28
4 ややそう思う	18	17
3 どちらともいえない	10	4
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	49	49

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	17
4 ややそう思う	12
3 どちらともいえない	15
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	49

設問	5
5 ほぼ時間どおり	38
4 延長することが多い	5
3 開始が遅いことが多い	4
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	49

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	39	34	39	35	25	20	34
4 ややそう思う	9	10	9	13	14	12	13
3 どちらともいえない	1	4	1	1	7	7	2
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	3	10	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	49	49	49	49	49	49	49

授業科目	心理学B				担当者	三宮 敦生		
開講時期	後期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 この授業では、主として社会心理学における対人関係分野を扱った。その内容を具体的に述べると援助行動、攻撃行動、印象形成と自己呈示、ノンバーバル・コミュニケーション、説得的コミュニケーション、対人魅力、青年期の人間関係などである。授業形態は典型的な講義形式であるが、毎時間簡単な心理テストを課して、自分自身を知る助けとした。また、理論的な内容は徹底的に図解して解説することにより、理解の促進と定着を図った。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ・出席率 80%以上の受講者は 94%であった。後期の 5 限の授業としては、出席率はますますかと思われる。 ・「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」に対して、「強くそう思う」が 41%、「ややそう思う」が 37%であった。まずは意欲的な受講態度であったと思われる。 ・「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」に対して、「強くそう思う」が 57%、「ややそう思う」が 35%であった。受講者は授業内容に興味・関心を十分示してくれたと思われる。 (2) 授業について ・「シラバスは授業の選択に役立ちましたか」に対して、「強くそう思う」が 35%、「ややそう思う」が 25%、「どちらともいえない」が 31%であった。この質問は、「シラバスどおりに授業は行われましたか」といったものに変更する方がよいと思われる。 ・「授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか」に対して、「ほぼ時間どおり」が 78%であった。この授業は、前の時間の教育心理学と連続であるため、3～4 分遅刻することが多かった。この点を次年度は気をつけたい。 ・「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 80%、「ややそう思う」が 18%であった。話し方とスピードは十分に適切であったと思われる。 ・「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 69%、「ややそう思う」が 20%であった。板書中心の授業であるが、その点で黒板の小ささが気になることが多かった。できれば、上下二段式の黒板が有難い。 ・「教員の説明の仕方は分かりやすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 80%、「ややそう思う」が 18%であった。この授業は十分わかりやすい授業であったといえる。 ・「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対して、「強くそう思う」が 71%、「ややそう思う」が 27%であった。教員側の熱意は十分に伝わったと思われる。 ・「教員とコミュニケーションはとれていましたか」に対して、「強くそう思う」が 51%、「ややそう思う」が 29%であった。講義形式の授業としては、これはまずまずの結果であると思われる。授業冒頭で、前回の授業のコメントペーパーに対するレスポンスをするように心がけたことが一定の評価を得たものと思われる。 ・「教室・設備については適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 41%、「ややそう思う」が 25%であった。授業をする側としては、教室・設備が適切とは思えないが、「強くそう思う」が 4 割もいることは驚きである。 ・「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」に対して、「強くそう思う」が 69%、「ややそう思う」が 27%であった。この結果はまずまずであったと思われる。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・「内容が面白い」、「心理テストが楽しかった」、「テーマに関心を持てた」といった感想が寄せられた。学生にとって身近なトピックスを扱うことを心がけたが、その狙いはある程度成功していたと思われる。 (4) 自由記述より学生からの要望について ・心理テストの紙をもう少し見やすくして欲しいとの要望が 1 件寄せられた。 3 今後の授業の工夫・改善 (FD) ・授業内容の精選にさらに工夫を加えていきたい。 4 その他、意見 特になし。								

科目 基礎化学A

担当 清道 正嗣

回答した学生 4 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	1
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	4

設問	2	3
5 強くそう思う	2	2
4 ややそう思う	1	0
3 どちらともいえない	1	2
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	4	4

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	0
4 ややそう思う	2
3 どちらともいえない	1
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	4

設問	5
5 ほぼ時間どおり	4
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	4

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	1	0	0	2	2	3	2
4 ややそう思う	3	3	3	1	0	1	0
3 どちらともいえない	0	0	1	1	2	0	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	1	0	0	0	0	0
小計	4	4	4	4	4	4	4

授業科目	基礎化学A				担当者	清道 正嗣	
開講時期	前期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

本授業は「化学を通して、科学的な見方・考え方を身につける」を目的とした。化学に関する簡単な知識を学ぶと同時に、根拠に基づいて考えること・書くことを身につけることを目指した。

授業では、講義とともに関連実験・レポート講評を繰り返すことにより、化学的知識のより一層の定着と、根拠に基づいた思考の習慣づけを目指した。また、あらかじめ試験が「実験レポート形式」であることをシラバスに明示し、レポート作成練習に強い動機を与えるようにした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

アンケート実施時には受講生は4名しかおらず、一般的な傾向については何も言えない。

(2) 授業について

授業の全般への評価は4.0ポイントであり、「5 強く思う」と「3 どちらとも言えない」に2名ずつの回答があった。各項目についても3-5の間にのみ回答があった。平均的な授業であったと言えよう。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

「レポートに対する添削があったこと」「実験があったこと」があげられている。前者は当たり前すぎることへの評価であり意外な回答であった。後者については、これが授業選択への動機となれば良いのだが、(4)にも述べるように受講科目の決定に本年度はシラバスが役に立っていないことを考えると、単なる学生の感想に過ぎないと判断せざるを得ない。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業に対しては何も回答が得られなかった。

シラバスに関して意見があったが、それは私が書いた内容へのものではなく、今年度から導入した電子化シラバスシステムへの苦情「見づらい・見えない」であった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

「レポートの添削」という当たり前の授業運営に対して、学生が良かったと判断しているので、今後も当たり前の授業を行う。本年度のアンケートからは何も分からないので、昨年度のアンケート報告に書いた工夫・改善を継続するものとする。

4 その他、意見

回収されたアンケートにもシラバスシステムには苦情があった。学生の受講科目の決定に電子化シラバスがまともに利用されていないのではないかと思います。今年度、本科目の受講生の75%がアンケート実施時にはいなくなっている。出席記録では、これらの学生は年度当初の一、二度のみ出席し後は出席しないというパターンであった。このパターンはこれまでもあったが、本年度は例年に無く多かった。この出席パターンは、授業内容を知らずに受講し、受講した後希望と異なる内容であったため受講をやめた、と考えることが妥当だと思う。

電子化シラバスシステムについて、ユーザビリティとサーバの処理能力・ネット帯域の増強をお願いする。受講申請期間前から電子化シラバスにまともにアクセスできない、複数科目の同時表示ができない（講義内容を比較するために必要）など、現在のシステムには問題がありすぎる。このため、博打のように受講科目を決めざるを得ない学生がいるのではないかと思います。

科目 基礎化学B

担当 清道 正嗣

回答した学生 7 名

受講登録者 13 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	2
3 80%くらい	2
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	2	2
4 ややそう思う	3	5
3 どちらともいえない	2	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	2
4 ややそう思う	2
3 どちらともいえない	3
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	7

設問	5
5 ほぼ時間どおり	7
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	7

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	3	2	2	3	1	0	0
4 ややそう思う	3	5	5	4	4	0	7
3 どちらともいえない	1	0	0	0	2	5	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	基礎化学B				担当者		清道 正嗣	
開講時期	後期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 授業では、年代測定・産地推定・分光測定の実例に、実際の美術品に対して行われた研究を取り上げることによって、学生の興味を喚起しようとした。
 また、受講生獲得のために「ガラス細工」を、物性の説明に関連させて取り上げることにした。
 実際に試験に用いる問題を含む複数の試験問題をあらかじめ発表しておくことにより、授業の復習への動機を強化することを試みている。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 アンケートに回答した受講生は7名しかおらず、回答した学生は後期の終盤まで授業を受けているので、質問1-3で5と4が大半を占めるのは当たり前と言える。

(2) 授業について
 質問4-10において「3. どちらとも言えない」以下であったものは、質問4「シラバス」の「3. どちらとも言えない」が3名と、質問6「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」の「3. どちらとも言えない」が1名の二箇所だけであった。授業については、ほとんど問題がなかったと言える。シラバスについては、システムの問題（今年度は電子化シラバスのみでスタートしたため、学生の苦情不満があった）を言っている（見ていないからどちらとも言えない）のか、内容について言っているの（シラバスの内容がわからない）かが不明なためコメントできない。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
 内容と取り上げ方を幾人かが良かった点にあげている。しかしながら学生の肯定的な感想（興味が持てた、楽しかった）が、試験の結果に反映されていないことが問題である。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 上記1であげている「試験問題公開」に対して、「公表問題数が多すぎる」との意見がある。このシステムが授業の復習をやりやすくするためであり単位を取りやすくするためではないことが、十分に学生に伝わっていないことが分かった。
 学生から防寒対策が強く要求されている（自由記述14と15で5例）。これについては、授業をしている私も苦痛なほどの寒さを感じる（実際授業後に何度か体調を崩した）。エアコンの能力が部屋の大きさに対して全く不足しているうえに、しばしば勝手に停止してしまうため役に立っていない。スチーム暖房の復活を望む。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 ある程度の水準にある授業だと言えると思うので、この水準を維持するようにする。
 一方、試験の結果から、この授業の受講者においても、最近の学生によく見られる問題が浮き彫りとなった。それは「大学の授業を真剣に受けず、試験・レポート時にはネット検索や一般書・都市伝説を頼りにする」という傾向である。今回出題した試験問題は、たまたまネットの検索結果や一般書などの説明に「重大な欠落」があることが分かっているものであった。授業でこの欠落については重ねて注意したにも関わらず、ほとんどの学生の解答にこの欠落が見られた。このような受講姿勢では、大学で授業を受ける意味がない。今後の授業展開においては、専門知識とその劣化バージョンとの違いと、劣化バージョンが作り出す社会への弊害について、今以上に力を入れて説明する必要があることが分かった。

4 その他、意見

科目 コンピューター基礎Ⅱa(火3)

担当 清道 正嗣

回答した学生 22 名

受講登録者 44 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	9
4 90%くらい	8
3 80%くらい	5
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	22

設問	2	3
5 強くそう思う	6	11
4 ややそう思う	10	4
3 どちらともいえない	5	6
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	22	22

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	6
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	22

設問	5
5 ほぼ時間どおり	16
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	22

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	7	4	8	8	3	5	7
4 ややそう思う	6	6	6	5	4	8	10
3 どちらともいえない	7	10	3	8	9	4	4
2 あまりそう思わない	1	2	4	1	3	4	1
1 まったくそう思わない	1	0	1	0	3	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	22	22	22	22	22	22	22

授業科目	コンピューター基礎Ⅱa				担当者	清道 正嗣		
開講時期	前期	曜日	火	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業の目標は、「Photoshopによる初歩的なビットマップ系画像の作成・加工を身につける」であった。単なるPhotoshopのTips紹介ではなく、「フォトレタッチ」「手書き線からのイラスト作成」「PC内での手書き」と、Photoshopを使う3つの代表的なシチュエーションを網羅して教えることにより、学生のPhotoshopに対する理解を広くし、今後のPhotoshop利用の下地を作ることを目指した。

またアイコン・壁紙・スクリーンセイバーなどPC特有のビットマップ画像の作成方法を紹介することによって、制約（解像度・サイズ・色数）がある中で描く手順・考え方に慣れさせることにした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

「授業への意欲的な取り組み」は「4 ややそう思う」が最も多く約半数を占めており、「自己申告による出席率」は平均 92%とコンピューター基礎科目としては普通であった。

(2) 授業について

授業の全般への評価は平均 4.0 ポイントであり、平均的な授業であったと言える。一方、個別の問題では、「教員とコミュニケーションは取れていましたか」に対する評価が、平均 3.0 ポイントと目立って低かった（「どちらとも言えない」レベル）。その一方で、自由記述には「聞いたらいろいろと教えていただけるので大変勉強になりました」と書いたものがいた。以前から授業アンケートの回答に書いているように「教員とコミュニケーション問題」は、この科目の授業形態に起因するものであると考えてよいと思う。

「授業を受けた後で、興味関心が高まりましたか」にたいしては、約半数が「5 強くそう思う」と答えている。それなりに学ぶところのあった授業であったと言える。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「聞いたらいろいろと教えていただけるので大変勉強になりました」「知らないことが分かり、コンピューターが少し楽しくなった事」など、普通授業としての特性が指摘されている。新鮮みに欠ける授業であったのかもしれない。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「教材の写真をおもしろいものにすれば、もっと楽しくできたと思う」「プロファイル破損を何とかして欲しい」「進度が速い」という指摘があった。一つ目については後で「3.」に述べる。二つ目については、学生が説明（プリントにも書いた）を聞かないことが原因である。できればトラブルが起きにくい設定に変えたいのだが、PhotoshopCS（ナンバー無）のファイルハンドリングにおける制限と利便性を考えると改善は無理である。三つ目は、授業時に「再説明の要望」「作業終了の確認」をことあるごとに実施しているので、そのときにアピールしない学生に問題がある。終わってから言われても対処のしようがない。

台数の不足（設備への要望にもある）があげられているが、後期から少し改善される。根本的な問題は時間割にあるので、両学部とのカリキュラムについて話し合う必要がある。「部屋が暑い」という苦情もあるが、反対に「冷房を寒いから切って欲しい」との要求が授業時にあったので、座る場所を変えるなど学生自身で対処して欲しい。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

後期から Photoshop のバージョンが CS5 となるので、授業で取り上げる機能・教材の再検討を行う。(4) であげた学生の要望については、教育的効果が現状と同程度あるおもしろい写真が撮れば入れ替えていきたい。しかしこの点は、教材の再配布をネットで行う都合上、著作権が問題とならないようにする必要がある。いきなりの変更は難しい。また「おもしろさ」は人それぞれであるとしかならない（昨年度は同じ写真をおもしろがる自由記述があった）ので、優先度はあくまでも機能の説明・練習に適切かどうかにかきたい。

4 その他、意見

「シラバスは授業の選択に役に立ちましたか」に「5 強く思う」「4 やや思う」「3 どちらとも言えない」が各 6 名となっている。否定的な回答の 4 名とあわせて、まんべんなく回答が散らばっている。例年に比べて、シラバスへの評価が悪いように見える。しかし以下に述べる理由から、シラバスに関するアンケート結果が、本当に私のシラバスに対するものであるかどうか疑わしい。

まず年度当初に内容の概説を行ったが、このとき「Photoshop を使う」という説明に対して、歓喜のどよめきが起きた。シラバスを読んでいない者が多数いることの証拠である。

また前期に開かれているコンピュータ基礎 2a の授業であるにもかかわらず、年度当初の一度のみ出席し後は出席しないという音楽学部学生がいた。さらに自由記述に、「周りの人が美術の人ばかりで、先生の説明も分かりにくくて大変でした」というコメントがあった（一人しかいない音楽学部受講生が書いたことが明らかである）。これらのことからシラバスを読まずに受講している学生が多数いることが明らかである。

シラバスを読んでいない者に、シラバスについての意見を求めれば、シラバスシステムへの感想が答えとして帰ってくることは当然である。今回のアンケートのシラバスに対する結果は、この授業のシラバスの内容と電子化シラバスシステムに対する感想が混じってしまっていると考えるべきである。

電子化シラバスシステムについて、ユーザビリティとサーバの処理能力・ネット帯域の増強をお願いする。受講申請期間前から電子化シラバスにまともにアクセスできない、興味ある科目に目印を付けられない、複数科目の同時表示ができない（講義内容を比較するために必要）、現在のシステムには問題がありすぎる。

科目 コンピューター基礎Ⅱa(火5)

担当 清道 正嗣

回答した学生 35 名

受講登録者 41 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	18
4 90%くらい	13
3 80%くらい	4
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	35

設問	2	3
5 強くそう思う	22	24
4 ややそう思う	10	7
3 どちらともいえない	3	4
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	35	35

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	12
4 ややそう思う	11
3 どちらともいえない	8
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	35

設問	5
5 ほぼ時間どおり	30
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	35

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	15	15	18	16	9	17	17
4 ややそう思う	9	11	5	14	11	9	13
3 どちらともいえない	9	6	8	4	9	7	5
2 あまりそう思わない	0	1	3	0	2	1	0
1 まったくそう思わない	1	2	1	1	3	1	0
無回答	1	0	0	0	1	0	0
小計	35	35	35	35	35	35	35

授業科目	コンピューター基礎Ⅱa				担当者	清道 正嗣		
開講時期	前期	曜日	火	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業の目標は、「Photoshopによる初歩的なビットマップ系画像の作成・加工を身につける」であった。単なるPhotoshopのTips紹介ではなく、「フォトレタッチ」「手書き線からのイラスト作成」「PC内での手書き」と、Photoshopを使う3つの代表的なシチュエーションを網羅して教えることにより、学生のPhotoshopに対する理解を広くし、今後のPhotoshop利用の下地を作ることを目指した。

また、アイコン・壁紙・スクリーンセイバーなどPC特有のビットマップ画像の作成方法を紹介することによって、制約（解像度・サイズ・色数）がある中で描く手順・考え方に慣れさせることにした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

「授業への意欲的な取り組み」は「5 強くそう思う」が最も多く 63%を占めており、「自己申告による出席率」は平均 94%とコンピューター基礎科目としては普通であった。

(2) 授業について

授業の全般への評価は平均 4.3 ポイントであり、平均的な授業であったと言える。一方、個別の問題では、「教員とコミュニケーションは取れていましたか」に対する評価が、平均 3.5 ポイントと目立って低かった。残りの設問への回答は、全て 4 ポイント以上であり良い授業であったと言える。

「授業を受けた後で、興味関心が高まりましたか」にたいしては、69%が「5 強くそう思う」と答えている。それなりに学ぶところのあった授業であったと言えよう。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

「基本から応用まで、色々扱ったのが良い」「説明が分かりやすく、技術が身についた実感がある」「家でもやりたくなった」「使い方が分かった」などがあつた。同内容の三時間目の授業に比べて、この授業では私語が多く何度か注意をせざるを得なかったにもかかわらず、なぜか妙に内容と教え方に肯定的な意見があげられていた。何が理由であるかは不明である。

また「くりかえし君4」に対して、肯定的な意見があげられていた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「コンピューターの台数」「スキャナの台数」「ユーザ記憶容量のサイズ」に不満が述べられている。一つ目に対しては、後期から改善される。二つ目については予算の都合上すぐには改善できない。3 つめは技術的理由と Photoshop のファイルハンドリングの都合で、現状の利便性を維持したままでの改善はできない。

「プリントは非常勤の中島先生の方が分かりやすい（つまり今の私の分は分かりにくいということ）」との指摘があつた。確認してみることにする。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

後期から Photoshop のバージョンが CS5 となるので、授業で取り上げる機能・教材の再検討を行う。

4 その他、意見

科目 コンピューター基礎 I a

担当 清道 正嗣

回答した学生 32 名

受講登録者 36 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	17
3 80%くらい	6
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	32

設問	2	3
5 強くそう思う	9	11
4 ややそう思う	10	11
3 どちらともいえない	12	9
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	32	32

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	10
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	12
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	32

設問	5
5 ほぼ時間どおり	25
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	4
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	32

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	14	12	12	13	10	6	12
4 ややそう思う	5	8	9	12	8	4	12
3 どちらともいえない	10	10	11	7	10	7	7
2 あまりそう思わない	2	1	0	0	3	10	1
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	1	5	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	32	32	32	32	32	32	32

授業科目	コンピューター基礎 I a				担当者	清道 正嗣	
開講時期	後期	曜日	月	時限	5	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
この授業はいわゆるコンピューターリテラシーを扱うものであるが、本学学生のニーズに答えた題材（演奏会展示会のビラづくり・論文作成・譜面記述）を取り入れている。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
後期 5 時間目の授業であるにもかかわらず、この授業の課題提出率は 92%・合格率（全受講者を 100 とする）は 84%と著しく高かった。また全ての受講生が音楽学部で占められるなど特異な授業であった。この理由は、個人的に実施している別アンケートから、「もともと使えるソフトウェアの授業を教職免許のために受けていた」ためであったと言える（86%が教職の必修科目であることを受講理由にあげている。またこの授業が扱うソフトを 70%の受講生はある程度使えると答えている）。

(2) 授業について
質問 4、6-8 の解答が選択肢 5 と 4 のふた山になっていることが興味深い。これは、2-(1) であげたようにこの授業の受講生の質（授業で用いるソフトを 70%がそれなりに使える）によると思われる。実際、追加のアンケートで授業の難易度は 79%が普通と答えていることから、ふた山の原因は、「知っていることを学んでいたの、問題の有無が気にならない」と感じた学生と、「知っていることなので、復習になった」という学生がいたと言うことであるように思う。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて
何も書かれていなかった。

(4) 自由記述より学生からの要望について
ソフトの本数を増やすことが要求されている（自由記述 14 と 15 で 3 例）。これは、記譜ソフト（Finale）のことである。コンピューター 2 台ごとに 1 本すら入っていないので、学生の不満ももっともである。せめてあと 3 本（できれば 18 本）が欲しい。
学生から防寒対策が強く要求されている（自由記述 14 と 15 で 11 例）。これについては、授業をしている私も苦痛なほどの寒さを感じる（実際授業後に何度か体調を崩した）。コンピューター教室にはエアコンには暖房機能がない。スチーム暖房が入れられているがあまりにも弱いので、部屋が十分に暖まらない。この点は改善を望む。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
提出された課題から見ると、それなりに使えるソフトウェアを使う場合に特有の弊害が出ている。つまり、その場限りのごまかし操作（正しい方法ではない）によってある程度のものができてしまうので、完成度が低いまま・間違った離礁方法のままになってしまうという点である。今後は授業内で、繰り返し練習を増やし、我流で学生が身につけた正しくない使用方法を少しでも減らせるように試みる。

4 その他、意見
この授業に対するアンケートの結果は、自由記述に学生から苦情も無ければ良かった点の指摘もないという珍しいものであった。教職必修によるしぼりのためすでにある程度理解している内容の科目を受講しており、新しいことを学ぶ・興味あることを学ぶという状態ではなかったためであろうと思われる。リテラシー系授業では避けられない状況とはいえ、アンケートを読んでも得るものがなかったことが残念である。

科目 コンピューター基礎Ⅱb

担当 清道 正嗣

回答した学生 13 名

受講登録者 28 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	4
3 80%くらい	4
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	13

設問	2	3
5 強くそう思う	7	6
4 ややそう思う	5	5
3 どちらともいえない	1	2
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	13	13

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	5
4 ややそう思う	4
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	13

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	13

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	3	5	4	8	4	4	5
4 ややそう思う	5	2	4	2	2	1	5
3 どちらともいえない	3	5	4	3	6	5	3
2 あまりそう思わない	2	1	1	0	1	1	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	13	13	13	13	13	13	13

授業科目	コンピューター基礎Ⅱb				担当者	清道 正嗣		
開講時期	後期	曜日	火	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 基本的な概念・操作の学習では、毎回授業開始時に前回の取り扱い範囲を復習し、記憶をより確実にするようにした。応用練習については、そこで使う基本的な技法を説明し直してから実際に操作行わせ、学習目的を常に意識させるようにした。 教材中に制作見本の他に「ステップバイステップの作成手順」を記載し、学生だけでも練習できるようにした。教材はいつでも Web から再入手可能であるようにした。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 「意欲的な取り組み」が平均 4.5 ポイントと他のコンピューター基礎と比べて高い。これは扱っているソフトウェア Illustrator の人気のためであろう。別のアンケートでは、受講理由にソフトウェアへの興味が 75%になっている。 (2) 授業について 質問 4-10 への回答は平均 3.9 ポイント、問 12 の全体への感想も 4.2 ポイントであった。おそらく普通の講義と評価されたと解釈して良いと思う。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 共通する意見は無いが、「専門的なことが学べた」「使い方が分かるようになった」「教材が見やすい」「正確な図を描く意味が少し分かった」などがあげられていた。最後の感想から、この授業の目的のひとつが、少なくとも 1 人ぐらいには理解されていることがわかった。 (4) 自由記述より学生からの要望について 美術系・デザイン系でない学生への配慮（もっと基礎から、ゆっくり、美術・デザイン用語を説明）が求められている。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 意外に音楽学部学生が多く受講していたことと上記 2-(4)から、今後は水準をより下げたところから説明することにする。また仕事ではなく趣味的興味で学ぶ学生にもある程度配慮した教材を用意することにする。 4 その他、意見 実際に受講者登録が済むまで音楽学部所属学生が存在するかどうか分からないので、3 で述べた工夫は無意味になる可能性がある。シラバスには具体的な内容・目標を書かなければならないルールのため、受講生に合わせた内容の柔軟な変更はできない。このようなシラバスシステムは、教員にとっても学生にとっても問題ではないだろうか？それともアンケートの頃には、学生はシラバスの内容も授業の具体的な内容も忘れていたので、臨機応変に内容の差し替えをやっても良いのだろうか？現在のシラバスとアンケートの仕組みは、自縄自縛に陥っている気がする。 また前期分のアンケート回答に書いたように、シラバスを読んでいる学生が存在が無視できないほどいることは忘れてはならない。なぜなら後期受講科目も前期に登録しているからである。								

科目 コンピューター基礎Ⅲb

担当 清道 正嗣

回答した学生 27 名

受講登録者 57 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	6
4 90%くらい	15
3 80%くらい	3
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	27

設問	2	3
5 強くそう思う	3	6
4 ややそう思う	12	8
3 どちらともいえない	10	12
2 あまりそう思わない	2	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	27	27

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	6
4 ややそう思う	9
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	27

設問	5
5 ほぼ時間どおり	20
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	27

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	5	7	2	8	2	7	6
4 ややそう思う	7	5	5	9	9	6	4
3 どちらともいえない	3	10	8	9	8	7	14
2 あまりそう思わない	9	5	11	1	6	6	2
1 まったくそう思わない	3	0	1	0	2	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	27	27	27	27	27	27	27

授業科目	コンピューター基礎Ⅲb				担当者	清道 正嗣		
開講時期	後期	曜日	火	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

授業の段階ごとに半完成教材を用意し、学生の宿題忘れによる足並みの乱れを最小限に抑えるように配慮した。

課題を携帯電話用 3D モデルの Flash とすることによって、学生の授業参加・課題作成への意欲を高めることを目指した。

取り上げたソフトウェアの操作方法のうち、課題作成に直接関係ない部分の解説を、大幅に省略することにした。その理由は、この授業内容では全く性質の異なるソフトウェアを複数扱うため、ともすれば課題作成が不可能と考えがちな学生に、ソフトウェアの操作を容易に感じさせることによって、それが不可能ではないという印象を与えるためであった。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

質問 2、3 への解答が他のコンピューター基礎科目に比べて低い評価である。アンケートには表れていないが、受講を途中で放棄した学生が他のコンピューター基礎科目に比べて多かった。途中放棄の学生は最初の回だけでやめていることが多く、また別アンケートでは最後まで受講した学生の受講理由は、「ソフトウェアへの興味」と「時間割の都合」が同じ 61%を占めていた。これらのことからこの科目では、他のコンピューター基礎科目が取れなかったときの保険として受講した学生がかなりいたことが分かる。また途中放棄については、前期分のアンケート回答に書いたように、シラバスを読んでいない学生の存在が無視できないほどいることは忘れてはならない。なぜなら後期受講科目も前期に登録しているからである。

(2) 授業について

質問 4-10 への回答は平均 3.4 ポイント、問 12 の全体への感想も 3.4 ポイントと、私が担当する他のコンピューター基礎科目（Ⅰa: 3.9 と 4.1、Ⅱb: 3.9 と 4.2）に比べ目立って低い。特に質問 6（話すスピード）、8（説明の仕方）、10（コミュニケーション）が特に低い。科目によって授業の巧拙が変わるとは考えられないので、授業内容と受講者のバランスが良くないということだと思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

3D を扱うことと Flash を取り上げたことが指摘されている。つまり、内容選択と授業の構成は、学生のニーズにあっているとと言える。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業進度を遅くするようにとの意見が多かった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

授業用 PC 入替にともなう FlashCS5 への対応準備が不完全であった。このため授業において幾つかのトラブルを起こし、トラブル解決のために授業時間を無駄にした。来期の授業では、この点を改善し授業進度に余裕を持たせることにする。またスマートフォンの普及に伴い携帯電話対応 Flash への需要がさらに下がれば、この部分を削除し授業内での学生の実習部分を増やすこととする。

受講学生へのガイダンスにおいて、「初心者対象」の初心者は「3D・Flash の初心者」であって、「PC の初心者では無い」ことをよく説明し、受講生と内容のバランスを改善する。

4 その他、意見

科目 外国文化史

担当 水野 留規

回答した学生 55 名

受講登録者 63 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	26
4 90%くらい	26
3 80%くらい	3
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	55

設問	2	3
5 強くそう思う	26	31
4 ややそう思う	14	17
3 どちらともいえない	14	7
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	55	55

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	22
4 ややそう思う	13
3 どちらともいえない	16
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	55

設問	5
5 ほぼ時間どおり	53
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	55

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	34	37	35	43	21	26	37
4 ややそう思う	12	9	14	11	15	16	15
3 どちらともいえない	7	8	5	1	14	6	3
2 あまりそう思わない	2	1	1	0	3	6	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	2	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	55	55	55	55	55	55	55

授業科目	外国文化史				担当者		水野 留規	
開講時期	前期	曜日	火	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
講義を聞いて期末テストを受けるということにとどまらないで、学生に読書案内をして、本を読ませて、レビューを書かせ、「図書リンク」に投稿させた。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
出席、意欲の面で学生は全体的によかったが、教師としては、もう少し学生と話し合う機会がほしかった。

(2) 授業について
39人中「非常によい」が14、「どちらかと言えばよい」が20なので、満足度はまずまずであった。課題が多かったのでもしんどいと思った学生もいたと思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
授業に工夫があることは評価してくれた。
図版が多いこと。

(4) 自由記述より学生からの要望について
少し淡々と話しすぎたと思うので、改善したい。
教室の机が小さいこと。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
テスト対策がやりにくいという声に応じる。

4 その他、意見

科目 西洋の古典文芸

担当 水野 留規

回答した学生 23 名

受講登録者 26 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	15
3 80%くらい	2
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	1
小計	23

設問	2	3
5 強くそう思う	9	11
4 ややそう思う	11	11
3 どちらともいえない	2	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	1	1
小計	23	23

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	9
4 ややそう思う	10
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	23

設問	5
5 ほぼ時間どおり	18
4 延長することが多い	5
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	23

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	14	13	14	19	13	12	14
4 ややそう思う	7	9	9	4	8	9	9
3 どちらともいえない	2	1	0	0	1	2	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	23	23	23	23	23	23	23

授業科目	西洋の古典文芸				担当者		水野 留規	
開講時期	後期	曜日	火	時限	5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 教師自らが映像教材、パワーポイント教材などを開発し、それらを用いて学生の視聴覚に訴えることを目指した。学生は授業に関連して自分たちも読書をして、読んだ本について授業で発表するとともに、図書館の「図書リンク」に本のレビューを投稿した。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 1年生が大半だった。しかし、単位とは関係なく聴講した上級生もいた。 (2) 授業について 23人中14人がこの授業を「非常によい授業」としているので、受講者の満足度は高いと思う。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 映像 (4) 自由記述より学生からの要望について 教室に大きなテレビを今年入れたので設備面での不満は減った。しかし、机が小さく、ノートがとりにくい。 90人程度入る中教室が学内にもっとあればよい。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） あまり専門的にならないで学生のレベルにあった話をするのが難しい。 4 その他、意見								

科目 西洋演劇論

担当 大塚 直

回答した学生 58 名

受講登録者 88 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	24
4 90%くらい	26
3 80%くらい	7
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	58

設問	2	3
5 強くそう思う	15	25
4 ややそう思う	28	17
3 どちらともいえない	9	12
2 あまりそう思わない	5	3
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	58	58

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	14
4 ややそう思う	21
3 どちらともいえない	13
2 あまりそう思わない	6
1 まったくそう思わない	4
無回答	0
小計	58

設問	5
5 ほぼ時間どおり	50
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	3
無回答	0
小計	58

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	31	27	35	45	16	10	30
4 ややそう思う	14	18	12	9	14	15	21
3 どちらともいえない	10	9	5	3	18	15	5
2 あまりそう思わない	2	1	4	1	9	12	1
1 まったくそう思わない	0	3	2	0	1	6	1
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	58	58	58	58	58	58	58

授業科目	西洋演劇論				担当者	大塚 直	
開講時期	前期	曜日	水	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
この授業では、芸術系大学の学生のための基礎知識として、ドイツ語圏の主要な戯曲作品を紹介しながら、いわゆる西洋演劇史の流れをおさえるとともに、各時代の矛盾を照らし出す鏡としての演劇の存在意義を問いかける。
西欧近代の歩みとともに、絶えず演劇作品に照らし出されてきた各時代の美意識や政治感覚を概観しながら、今日なお上演され続ける古典作品の意義について、独自の見解を持てるようにする。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
受講登録者 88 名のうち、アンケートに回答してくれた学生は 57 名、履修者自体が多かったと言えそうだが、毎回 60 名程度の学生が受講して、そのうちの 75%は非常に意欲的に授業を受けてくれた。
受講生の 70%は、西洋演劇に対する強い興味・関心を持ってくれたようである。

(2) 授業について
「強くそう思う」という回答で、大多数の学生が教員を好意的に評価している。
教員とのコミュニケーションに関しては、やや評価が落ちているが、受講人数を考えれば仕方のないところだろう。
毎回資料を多量に配布したので、分かりにくかったところもあったと思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて
戯曲作品を説明すると同時に、実際の上演についてたくさんの映像資料を見せたので、それが学生の印象に強く残ったようである。
歴史の流れに沿って演劇作品を説明したので、とても分かりやすかった、との意見が寄せられた。

(4) 自由記述より学生からの要望について
受講生が多かったので、学生が教室に入りきらなかった。
芸術資料館演習室を使用したがるが、机が小さく、狭いので荷物も置けず、落ち着いて授業に集中できなかった、との意見が寄せられた。
遅れてくる学生のドアの開閉の音が気になった。
寒いことが多かった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
西洋演劇史の流れを半年間で概観するという駆け足の授業だったので、早口になることが多かった。
また板書も、教室に備え付けの黒板が小さいので、僕が書く字まで小さくならざるを得なかった。
その他、声が小さい、などの意見もあったので、来年度からは改善を心がけたい。

4 その他、意見
特になし。

科目 芸術と諸科学

担当 大塚 直

回答した学生 25 名

受講登録者 46 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	5
4 90%くらい	8
3 80%くらい	8
2 70%くらい	3
1 60%以下	1
無回答	0
小計	25

設問	2	3
5 強くそう思う	7	10
4 ややそう思う	9	7
3 どちらともいえない	9	7
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	25	25

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	11
4 ややそう思う	7
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	25

設問	5
5 ほぼ時間どおり	15
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	7
2 早く終わることが多い	2
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	25

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	12	9	10	9	6	5	12
4 ややそう思う	5	9	8	12	8	6	8
3 どちらともいえない	8	6	7	4	9	8	4
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	2	3	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	25	25	25	25	25	25	25

授業科目	芸術と諸科学				担当者		大塚 直／他	
開講時期	後期	曜日	水	時限	4, 5	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習	

1 この授業における教育方法の特徴
 美術・音楽・文学・演劇・映画など、芸術と関連するさまざまな分野で活躍されている先生方を7名、訪問講師としてお招きし、毎回順番に一回完結形式で講義をしていただくオムニバス形式の授業。芸術系学生にとって刺激となるテーマを提供し、実技の上でも役立つであろう幅広い見識を養ってもらう。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 全7回の講義のうち、履修するには5回以上の出席が必要、とシラバスに謳ったのだが、逆に2回は休んでも構わない、と考えた学生がいたためか、相対的に出席率が悪く、遅刻する学生も多かった。
 また授業の性格上、毎回講師が変わるため、講義のテーマによっては関心がもてない、という学生もいた。もっとも大部分の学生は、興味・関心を持って意欲的に受講してくれた。

(2) 授業について
 今年度は、「現前性の美学」という統一テーマを設けて講義していただいたが、この専門用語がよく分からない、という学生が多かった。また先生方も、全体の枠組みの中でどう話をすべきか、分かりやすく説明することに苦慮されていた。
 初対面の先生と学生とのあいだでは、相互にコミュニケーションを取りづらい、ということがあった。
 美術学部が音楽の話の聞き、音楽学部が美術の話の聞くのは、新鮮で面白いし発見がある、という意見と、逆に事情を知らないのでは何の話をされているのか分からない、といった見解とに分かれた。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて
 それぞれの分野において第一線で活躍されているさまざまな先生方と出会えたので刺激になった、という意見。
 「現前性」というテーマ自体が面白く、さまざまな観点から興味深い話が聞けた、という意見。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 施設・整備の点では、芸術資料館演習室を教室として使用したが、空調に問題があり、冬はとても寒かった、という意見が多く見られた。
 また教室の設備、AV機器の改善が望まれる、との要望があった。
 机と椅子がひどくて、感想文が書きにくかった、などの回答が寄せられた。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）
 来年度は「人と芸術」といった、初学者にも分かりやすい統一テーマを設けてみたいと思う。

4 その他、意見
 特になし。

科目 基本体育A(火2)

担当 石垣 享

回答した学生 36 名

受講登録者 38 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	26
4 90%くらい	8
3 80%くらい	2
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	36

設問	2	3
5 強くそう思う	15	14
4 ややそう思う	13	12
3 どちらともいえない	7	10
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	36	36

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	12
4 ややそう思う	12
3 どちらともいえない	10
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	36

設問	5
5 ほぼ時間どおり	32
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	36

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	16	13	20	24	15	16	18
4 ややそう思う	18	15	6	10	12	10	12
3 どちらともいえない	1	3	8	1	7	6	6
2 あまりそう思わない	0	3	1	1	2	3	0
1 まったくそう思わない	1	2	1	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	36	36	36	36	36	36	36

科目 基本体育A(火3)

担当 石垣 享

回答した学生 35 名

受講登録者 40 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	21
4 90%くらい	10
3 80%くらい	2
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	35

設問	2	3
5 強くそう思う	15	12
4 ややそう思う	13	18
3 どちらともいえない	7	5
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	35	35

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	15
4 ややそう思う	11
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	35

設問	5
5 ほぼ時間どおり	31
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	35

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	21	14	17	21	11	15	18
4 ややそう思う	9	12	14	12	15	11	16
3 どちらともいえない	4	8	3	2	8	9	1
2 あまりそう思わない	1	1	1	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	35	35	35	35	35	35	35

科目 基本体育A(火4)

担当 石垣 享

回答した学生 12 名

受講登録者 16 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	9
4 90%くらい	2
3 80%くらい	0
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	12

設問	2	3
5 強くそう思う	5	5
4 ややそう思う	3	4
3 どちらともいえない	4	2
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	4
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	12

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	5	5	6	8	7	3	7
4 ややそう思う	3	2	3	2	2	2	3
3 どちらともいえない	3	4	2	1	2	4	0
2 あまりそう思わない	0	1	1	1	1	1	2
1 まったくそう思わない	1	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

科目 基本体育A(水4)

担当 石垣 享

回答した学生 13 名

受講登録者 14 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	4
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	13

設問	2	3
5 強くそう思う	7	3
4 ややそう思う	4	6
3 どちらともいえない	2	4
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	13	13

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	4
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	13

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	13

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	10	6	8	10	8	6	6
4 ややそう思う	3	4	5	2	2	3	5
3 どちらともいえない	0	3	0	1	2	4	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	13	13	13	13	13	13	13

授業科目	基本体育 A				担当者	石垣 享	
開講時期	前期	曜日	火・水	時限	2・3・4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 本授業は、自身の身体を多角的に分析し、これらに関連する知識を講義により習得することで、自身を客観的に評価する能力を養うことが可能となる。本授業は、今後の人生を健康で過ごせるような生活習慣と疾病構造に関しての基礎的な知識を習得することを目指す。また、緊急事態への対処、障がい者への介助法の技能も習得することができる。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 受講生の殆どが授業へ関心を持ち、また授業へ意欲的に取り組む姿勢を示したことに大変満足をしている。 (2) 授業について 授業への準備および熱意に関しては高い評価を得られ、努力が認められていると感じることができる。ただし、昨年同様に板書の改善が必要であることを指摘されているが、本学の教室は横長であることから、30名を超える授業では黒板が見難い点があるのではないかとと思われる。また、教員とのコミュニケーションは、多人数を一度に相手にするため当然ながら取れる者とそうでない者に分かれる。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 身体障がい者への支援方法と自身の身体を多角的に測定評価を加える内容について学生の反応が良かった点は、シラバス内に明記している本授業の目標を十分に達成していることが示されており、大変満足している。 (4) 自由記述より学生からの要望について 板書と話すスピードに関しては、今年は改善に努めたが駄目であったと思われる。正確で詳細な情報を提供するには多くの板書と話が必要であるが、理解をさせて次に進むような形で授業展開を試みたい。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 正確で詳細な情報を提供するには多くの板書と話が必要であるが、理解をさせて次に進むような形で授業展開を試みたい。他は問題ないものと考えられる。 4 その他、意見							

科目 自由研究ゼミナールⅠ、Ⅱ

担当 石垣 享

回答した学生 8 名

受講登録者 8 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	5
4 90%くらい	3
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	8

設問	2	3
5 強くそう思う	7	8
4 ややそう思う	1	0
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	3
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	1
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	6
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	8

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	6	6	7	8	7	5	7
4 ややそう思う	1	1	1	0	1	3	1
3 どちらともいえない	1	1	0	0	0	0	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

授業科目	自由研究ゼミナールⅠ・Ⅱ				担当者		石垣 享, 山本 祐実, 久米 ナナ子, 神田 毎実	
開講時期	後期	曜日	木	時限	4・5	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

本授業の目的は、舞台美術、身体表現、立体造形の教員それぞれのワークショップ形式のオムニバス授業を展開することで、他領域の分野に対する理解と関心を持つことである。授業の目標は、受講者自身が他分野の芸術および研究領域に触れ、体験できることである。受講生は、芸術に関する素養を広げることが可能となる。また、科学的な視点から芸術を捉えることが可能となる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

昨年同様に、受講生の全てが授業内容への興味・関心の高まりを感じていることから、授業が効果的であったと考えられる。受講生の授業への取り組みが興味・関心に繋がっていることが結果から明らかである。

(2) 授業について

本授業の大きな問題は授業時間が延長することであるが、これが授業評価を下げる要因とはなっておらず、学生が延長を希望し、これに教員も付き合っているので、全く問題はないものと考えられる。

授業全般については、全く問題なく効果的な授業であると結果からも自信を持っている。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

本授業は、分野が異なる複数教員による有機的な授業展開の効果が大きく表れている授業であると自信を持っていえる。また本授業は、芸術大学の特性を外部に対して打ち出せる体験型の貴重な試みであるとも窺える。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業の延長を求められていることに対しては、教員として大変ありがたく思っている。しかし、この授業を運営するには、教員側の負担が非常に大きいことから、半期にとどめたいと思う。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

改善点は、現時点では見あたらない。多治見市民の中には、本授業のファンも存在し、毎年参加いただいている方との意見交換をすることで、外部からの評価として来年度に反映させたい。

4 その他、意見

科目 基本体育B(火2)

担当 石垣 享

回答した学生 30 名

受講登録者 37 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	10
4 90%くらい	15
3 80%くらい	5
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	30

設問	2	3
5 強くそう思う	18	7
4 ややそう思う	11	18
3 どちらともいえない	1	4
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	30	30

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	8
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	13
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	2
無回答	0
小計	30

設問	5
5 ほぼ時間どおり	23
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	30

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	15	12	15	19	13	4	12
4 ややそう思う	9	8	8	5	8	5	10
3 どちらともいえない	5	8	5	6	8	7	6
2 あまりそう思わない	1	2	2	0	0	4	2
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	10	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	30	30	30	30	30	30	30

科目 基本体育B(火3)

担当 石垣 享

回答した学生 17 名

受講登録者 26 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	8
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	17

設問	2	3
5 強くそう思う	16	8
4 ややそう思う	1	8
3 どちらともいえない	0	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	17	17

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	9
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	0
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	17

設問	5
5 ほぼ時間どおり	17
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	17

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	16	12	14	17	13	5	15
4 ややそう思う	1	3	3	0	3	4	2
3 どちらともいえない	0	2	0	0	1	4	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	17	17	17	17	17	17	17

科目 基本体育B(火4)

担当 石垣 享

回答した学生 13 名

受講登録者 19 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	8
3 80%くらい	2
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	13

設問	2	3
5 強くそう思う	6	5
4 ややそう思う	5	4
3 どちらともいえない	1	3
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	13	13

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	4
4 ややそう思う	6
3 どちらともいえない	3
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	13

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	13

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	10	6	8	9	7	1	7
4 ややそう思う	2	5	3	3	5	5	5
3 どちらともいえない	1	2	2	1	0	5	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	13	13	13	13	13	13	13

授業科目	基本体育B				担当者	石垣 享		
開講時期	後期	曜日	火	時限	2・3・4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習	
1 この授業における教育方法の特徴 この授業は、自身の身体プロフィールを客観的に認識することができるようになる。さらに、団体レクリエーションスポーツを行うことで、対人コミュニケーション能力を養うことができるようになる。本授業は、自身の身体プロフィールを客観的に認識する能力と対人コミュニケーション能力を養うことができる。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 受講生の殆どが授業に対意欲的であった点について満足している。 (2) 授業について 火曜日 2 時限目以外の受講生には高い評価を得られ、努力が認められていると感じることができる。ただし、火曜日 2 時限目の音楽専攻の受講生とは、昨年同様に良い授業展開であるとはいえない。この音楽専攻のみのクラスは、昨年度から授業態度が悪いものが目立ち、授業の円滑な進行が妨げられる点も多く認められたことから、今年度から成績評価に授業態度の項目を追加した。近年の音楽専攻学生の人間的変化にどこまで対応して良いのか苦慮している。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて レクリエーションスポーツと自身の身体の測定評価について良い反応があることは、シラバスに記載してある目的と合致していることから、授業の効果があるものと考えている。 (4) 自由記述より学生からの要望について ハード面の改善は私の領域を超えているので割愛するが、施設が不十分であることは授業の効果を下げる大きな要因であることに違いがないことが確認された。音楽専攻のルーズな学生に対しては、知り合いである専攻教員の名前を出して、きちんとするように言ってみたが不快ととられた点は反省すべきである。来年度からは、このような人情的な措置は執らず、受講停止および単位不認定にするように変更する。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 我が大学は、愛知県民の税金によって運営されており、その中でも教員養成に関わる授業では、ルーズな学生の受講を制限し、きちんとした人材を輩出できるようなシステムに変更する必要がある。教務委員会等を通じて検討していただきたい。 4 その他、意見								

科目 英語初級Ⅱ(水3)

担当 井土 慎二

回答した学生 50 名

受講登録者 69 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	7
4 90%くらい	30
3 80%くらい	10
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	50

設問	2	3
5 強くそう思う	9	9
4 ややそう思う	17	17
3 どちらともいえない	14	18
2 あまりそう思わない	8	4
1 まったくそう思わない	2	2
無回答	0	0
小計	50	50

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	10
4 ややそう思う	13
3 どちらともいえない	18
2 あまりそう思わない	6
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	50

設問	5
5 ほぼ時間どおり	38
4 延長することが多い	8
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	50

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	23	13	17	13	12	16	16
4 ややそう思う	15	17	15	24	15	13	18
3 どちらともいえない	8	13	16	11	15	17	14
2 あまりそう思わない	4	6	2	2	7	4	2
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	50	50	50	50	50	50	50

授業科目	英語初級Ⅱ				担当者	井土 慎二	
開講時期	通年	曜日	水	時限	3	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 基本的な文法事項の復習と簡単な英文の読解ができるようになることを目的とする。目標は基本的な文法事項を確認することと辞書に載っている情報を活用できるようになることである。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 英語の基礎的な文法の復習であるので、高校でつまづいた学生の意欲をもっと起こしたい。一方、大人数の受講者に大教室で意欲を起こさせるようなきめ細かい授業の運営をする困難が感じられた。 (2) 授業について 授業全般の肯定的な評価は7割だった。大人数のクラスなので、これを中規模以下のクラスにできれば授業の品質を上げられると感じた。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 「分かりやすい」という評価について、分かりやすい説明をするためにしている授業準備の結果が反映されたと感じた。 (4) 自由記述より学生からの要望について 教室が大きく、人数も多いため、出席の確認時に学生の返事が教室後部から届きにくい問題があった。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 履修登録者数を各教室でより均等にしたい。また、板書の字がより読み易くなるように努力したい。 4 その他、意見 特になし。							

科目 英語中級 I (月3)

担当 井土 慎二

回答した学生 13 名

受講登録者 18 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	6
3 80%くらい	1
2 70%くらい	1
1 60%以下	1
無回答	0
小計	13

設問	2	3
5 強くそう思う	4	4
4 ややそう思う	5	4
3 どちらともいえない	3	3
2 あまりそう思わない	1	2
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	13	13

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	13

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	13

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	5	4	4	7	3	2	4
4 ややそう思う	7	4	6	3	5	2	8
3 どちらともいえない	0	5	3	3	3	7	1
2 あまりそう思わない	1	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	13	13	13	13	13	13	13

授業科目	英語中級 I				担当者		井土 慎二	
開講時期	通年	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 英文購読を目的とし、辞書を利用して専門的でない英文を読むことと聞き手に負担をかけない程度に通じやすい発音ができることを目標とする。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 意欲をもって取り組んだ学生が多かった。また、比較的少人数であったことも意欲の向上に役立ったと感じる。 (2) 授業について 肯定的な評価が9割を超えた。ただし教室・設備に対する不満が多い。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 特になし。 (4) 自由記述より学生からの要望について 教室・設備についての不満が多い。 3 今後の授業の工夫・改善 (FD) シラバスの記述に詳しさを加える。 4 その他、意見								

科目 英語中級Ⅰ(月4)

担当 井土 慎二

回答した学生 25 名

受講登録者 31 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	12
3 80%くらい	8
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	25

設問	2	3
5 強くそう思う	3	5
4 ややそう思う	13	9
3 どちらともいえない	6	8
2 あまりそう思わない	3	2
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	25	25

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	3
4 ややそう思う	11
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	25

設問	5
5 ほぼ時間どおり	23
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	25

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	9	7	8	13	4	10	10
4 ややそう思う	11	10	7	9	11	5	11
3 どちらともいえない	4	4	9	3	7	6	3
2 あまりそう思わない	1	3	1	0	3	4	1
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	25	25	25	25	25	25	25

授業科目	英語中級 I				担当者		井土 慎二	
開講時期	通年	曜日	月	時限	4	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 英文購読を目的とし、辞書を利用して専門的でない英文を読むことと聞き手に負担をかけない程度に通じやすい発音ができることを目標とする。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 後半で数人の学生には意欲の向上が見られた。 (2) 授業について 小さく横長の教室はこの人数にはちょうど良かったと感じた。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 発音の詳細な説明が良かったようである。 (4) 自由記述より学生からの要望について 試験問題が教科書内の文章からそのまま出題されないことに戸惑う学生がいた。これは教科書の文脈から離れた文法知識の定着度を見るための出題形式であるが、後期試験には教科書から採られた問題も一部取り入れた。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 説明をより分かりやすくすることを心がけたい。 4 その他、意見								

科目 ドイツ語初級Ⅰ

担当 大塚 直

回答した学生 49 名

受講登録者 62 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	10
4 90%くらい	23
3 80%くらい	12
2 70%くらい	4
1 60%以下	0
無回答	0
小計	49

設問	2	3
5 強くそう思う	21	27
4 ややそう思う	21	16
3 どちらともいえない	4	3
2 あまりそう思わない	3	3
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	49	49

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	16
4 ややそう思う	15
3 どちらともいえない	10
2 あまりそう思わない	5
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	49

設問	5
5 ほぼ時間どおり	41
4 延長することが多い	7
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	49

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	28	29	28	33	29	16	30
4 ややそう思う	11	15	13	12	12	11	12
3 どちらともいえない	8	2	6	3	4	13	6
2 あまりそう思わない	2	3	2	1	3	6	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	49	49	49	49	49	49	49

授業科目	ドイツ語初級 I				担当者	大塚 直		
開講時期	通年	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 初めてドイツ語を学ぶ初学者を対象に、アルファベットの読み方やドイツ語の発音の仕方、および基礎的な文法事項をひととおり学び終える。ドイツ語という言葉に対する感受性を養ってもらいと同時に、言葉の背景にあるドイツ人のものの見方、考え方にも慣れ親しんでもらう。 毎回新しく登場する文法事項をA4一枚のプリントにまとめて配布した。 音楽学部 of 学生の受講者が多いので、ドイツの歌曲を紹介したり、ドイツの絵本を読ませたりして、ドイツ語の世界を親しみ深いものにする努力をした。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 受講登録者 62 名のうち、49 名が回答してくれたが、大人数のためか、出席率 90% の学生が最も多かった。大多数の学生が好意的な評価を寄せてくれた。意欲的に取り組んだ学生は、「強くそう思う」、「ややそう思う」が、ほぼ同数で、合わせると 90% 以上に達した。 意欲的に講義を受けて、授業の後にドイツ語に対する興味・関心も高まった学生は半数以上に達した。毎回、新しい単語や文法が頻出する語学の授業としては、学生が熱心に受講していたことが伺える。 (2) 授業について 語学の授業なので、シラバスが役に立っているように見えない。 多くの学生が楽しく受講してくれたこと、分かりやすい授業だったことが、アンケート結果から確認できた。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 単なる文法説明に終始せず、ドイツの文化紹介に時間を割いたので、授業に興味を持てた、との声が多数寄せられた。 プリントを多用し、色分けした板書を心がけたせいか、授業が分かりやすいとの意見が多かった。 あまり怒らなかったためか、先生の人柄をほめられている（笑）。 (4) 自由記述より学生からの要望について 施設・整備の点では、暖房が効かない、とても寒かった、との不満が寄せられた。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 好意的に受講してくれた学生が多いので、今後も学生のことを気遣いながら、より良い授業になるように善処したい。 4 その他、意見 特になし。								

科目 ドイツ語初級Ⅱ

担当 大塚 直

回答した学生 52 名

受講登録者 70 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	6
4 90%くらい	32
3 80%くらい	13
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	52

設問	2	3
5 強くそう思う	19	25
4 ややそう思う	24	24
3 どちらともいえない	9	3
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	52	52

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	23
4 ややそう思う	13
3 どちらともいえない	13
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	52

設問	5
5 ほぼ時間どおり	49
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	52

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	39	44	42	41	36	22	39
4 ややそう思う	11	7	9	11	10	12	12
3 どちらともいえない	2	1	1	0	4	9	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	2	6	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	52	52	52	52	52	52	52

授業科目	ドイツ語初級Ⅱ				担当者	大塚 直	
開講時期	通年	曜日	水	時限	2	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

初めてドイツ語を学ぶ初学者を対象に、アルファベットの読み方やドイツ語の発音の仕方、および基礎的な文法事項をひととおり学び終える。ドイツ語という言葉に対する感受性を養ってもらいと同時に、言葉の背景にあるドイツ人のものの見方、考え方にも慣れ親しんでもらう。

会話中心の教科書を使用して、実践的な「使える」表現学習の習得に努めた。

毎回新しく登場する文法事項をA4一枚のプリントにまとめて配布した。

音楽学部の学生の受講者が多いので、ドイツの歌曲を紹介したり、ドイツの絵本を読ませたりして、ドイツ語の世界を親しみ深いものにする努力をした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

受講登録者70名のうち、52名が回答してくれたが、大人数のためか、出席率90%の学生が最も多かった。意欲的に取り組んだ学生は「ややそう思う」が最も多く、「強くそう思う」学生と合わせると、83%に達した。全体的に見て意欲的で、興味・関心も高い学生がほとんどであった。

毎回、新しい単語や文法が頻出する語学の授業としては、学生が熱心に受講していたことが伺える。

(2) 授業について

教員の評価に関しては、8割以上の学生が「強くそう思う」をチェックして、授業を高く評価してくれた。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

プリントを多用し、色分けした板書を心がけたせいか、授業が分かりやすかった、との意見が多かった。授業が楽しかった、説明が分かりやすかった、教え方が丁寧で素晴らしかったなど、わざわざ多くの学生が自由記述欄に記述してくれている。

(4) 自由記述より学生からの要望について

施設・整備の点では、暖房がきいていないのでとても寒かった、と改善の要望が多数寄せられた。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

好意的に受講してくれている学生が多いので、今後も学生のことを考えながら、より良い授業となるように心がけたい。

4 その他、意見

特になし。

科目 ドイツ語中級 I

担当 大塚 直

回答した学生 24 名

受講登録者 28 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	5
4 90%くらい	13
3 80%くらい	6
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	24

設問	2	3
5 強くそう思う	11	18
4 ややそう思う	13	6
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	24	24

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	15
4 ややそう思う	5
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	24

設問	5
5 ほぼ時間どおり	22
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	24

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	20	19	22	22	20	6	21
4 ややそう思う	3	3	1	2	3	5	3
3 どちらともいえない	1	2	1	0	1	7	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	4	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	24	24	24	24	24	24	24

授業科目	ドイツ語中級 I				担当者	大塚 直	
開講時期	通年	曜日	月	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
 基礎的な文法事項をひとつおりの学び終えた学生を対象に、グリム童話を原書で読むことで物語の楽しさに触れると同時に、初歩的な文法事項を反復練習しながら、中級レベルの実用的なドイツ語運用能力を培ってゆくことを目指した。
 授業中に「ドイツ語圏の文化紹介」をする時間を設けて、毎回順番に学生にはペアになってもらって、各自興味を持ったテーマについて発表してもらった。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
 受講登録者が 28 名、回答者が 24 名なので、ほぼ脱落者もなく、通年で受講生は熱心に授業を受けてくれた。
 受講生の 100%が、意欲的に授業に取り組んだと回答し、また履修後、授業への興味・関心も高まったと答えている。

(2) 授業について
 受講生のほぼ全員が分かりやすい授業であり、教員が熱心に教えてくれると評価してくれた。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて
 グリム童話が原文で読めて楽しかった、という意見。
 また単なる文法説明に終始せず、ドイツの文化紹介に時間を割いたので、とても勉強になったし、楽しい授業だった、との声が多数寄せられた。

(4) 自由記述より学生からの要望について
 芸術資料館・演習室が教室だったので、机が小さくてノートを取るのが大変だった、との意見が多かった。
 施設・整備の点では、夏は暑くて冬は寒かった、といった学生からの不満が見られた。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)
 授業のペースが速い、との要望も見られたので、謙虚に受け止めて、今後は学生に内容を咀嚼できる時間的余裕を持たせるなどして、より良い授業となるように心がけたい。

4 その他、意見
 特になし。

科目 ドイツ語上級Ⅰ

担当 大塚 直

回答した学生 7 名

受講登録者 11 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	0
4 90%くらい	5
3 80%くらい	2
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	1	3
4 ややそう思う	3	3
3 どちらともいえない	3	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	7

設問	5
5 ほぼ時間どおり	6
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	7

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	4	5	3	4	6	0	3
4 ややそう思う	2	1	3	3	0	2	4
3 どちらともいえない	1	1	1	0	1	1	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	ドイツ語上級 I				担当者		大塚 直	
開講時期	通年	曜日	火	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴
辞書さえあれば、ドイツ語の文献を難なく読み解いていける高度な読解力を養っていく。日本語とドイツ語の言語構造の違いに留意しながら、複雑なドイツ語構文を平易で分かりやすい日本語に翻訳できる翻訳の技術を学ぶ。
不規則動詞の三基本形を毎回暗記させて小テストを行うなど、基本語彙の定着に努めた。
音楽学部を受講生がほとんどなので、毎回ドイツの歌曲を紹介したり、ドイツの文化紹介をしたりするなどして、ドイツ語の世界を親しみ深いものにする努力をした。

2 アンケート結果の所見
(1) 受講した学生自身について
受講生は 10 名程度だったが、毎回小テストを行い、ドイツ語長文の読解と簡単な独作文を行う高度な授業内容だったので、必ずしも積極的に授業に取り組んだとは言えない学生も 40%程度、見られた。
しかし半数以上の学生は、意欲的に授業に取り組んでくれた。

(2) 授業について
難しい内容の教科書にしては、教員の説明や熱意を学生はよく理解してくれたと思う。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて
教科書の内容が面白かったし、勉強になることばかりだった、との意見があった。
ときどき歌曲を聴かせてもらえたのがよかった、との意見があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について
施設・整備の点では、エアコンの中央制御をやめてほしい、授業が始まった時点で教室がぜんぜん暖まっていない、冬はとても寒かったなど、エアコンに関する厳しい要望が多数、寄せられた。

3 今後の授業の工夫・改善（F D）
学生に課題を多く要求する厳しいドイツ語授業を行ったが、今後は、ときにはドイツ映画を見せるなどして、学生が楽しめる文化紹介などにも力を入れたい。

4 その他、意見
特になし。

科目 フランス語初級Ⅰ、Ⅱ

担当 内田 善孝

回答した学生 9 名

受講登録者 20 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	3
3 80%くらい	3
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	9

設問	2	3
5 強くそう思う	5	7
4 ややそう思う	2	1
3 どちらともいえない	1	0
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	9	9

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	1
4 ややそう思う	4
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	9

設問	5
5 ほぼ時間どおり	8
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	9

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	4	6	6	7	5	1	5
4 ややそう思う	3	1	1	1	2	3	3
3 どちらともいえない	0	0	1	0	1	1	0
2 あまりそう思わない	1	2	0	1	1	2	1
1 まったくそう思わない	1	0	1	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	9	9	9	9	9	9	9

授業科目	フランス語初級Ⅰ・Ⅱ				担当者	内田 善孝		
開講時期	通年	曜日	月・水	時限	3	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

フランス語初級の特徴は発音をできるようにすることです。発音ができないと、授業が苦痛になると思っています。大体の学生は一応発音ができるようになったと思います。とくに声学専攻の学生にとり、発音は重要です。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

学生の出席率は70%以上と、普通です。意欲的に取り組む学生がいた半面、欠席が多かった学生も少数いました。これは残念です。フランス語に関心が高まった学生は「強くそう思う、そう思う」が89%、意欲的に授業に取り組んだと思う学生は「強く思う、そう思う」が78%なので、かなり成果はあったと思います。

(2) 授業について

板書やプリントについては「強く思う、そう思う」78%、教員の説明に関しては78%、準備と熱心については89%、全般的に評価するは89%と、大体の学生が満足しています。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・ 先生が何度も繰り返し練習してくれたり、基礎的な質問でも答えてくれて、とても分かりやすかった。すごく楽しかった。
- ・ 授業の進行具合がちょうどよく、適度に分かりやすく、難しく、やりやすかった。
- ・ 楽しかった。
- ・ フランス語が楽しくて仕方ありません。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・ フランスの文化、雑学等もいつも話してもらえるのですが、更に詳しく教えてもらいたい。
- ・ 寒い。
- ・ 教室の空調がよくない。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

初級なので、かなり丁寧に教えています。楽しい授業にしようといつも努めています。

4 その他、意見

科目 フランス語中級Ⅱ

担当 内田 善孝

回答した学生 14 名

受講登録者 17 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	6
3 80%くらい	5
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	14

設問	2	3
5 強くそう思う	5	7
4 ややそう思う	5	4
3 どちらともいえない	4	3
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	14	14

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	7
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	4
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	14

設問	5
5 ほぼ時間どおり	13
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	14

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	5	5	4	9	5	2	6
4 ややそう思う	4	2	4	2	5	3	2
3 どちらともいえない	2	3	3	3	4	5	5
2 あまりそう思わない	3	4	3	0	0	2	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	14	14	14	14	14	14	14

授業科目	フランス語中級Ⅱ				担当者	内田 善孝		
開講時期	通年	曜日	水	時限	4	アンケート様式	☒ 講義	☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 フランス語の文法を延々と練習する授業なので単調です。上級で講読を始めるためにはこの過程が必要です。今年は動詞の練習問題に力点を置きました。 学生が発音で困らないように、前期の最初に発音の練習をします。こうすればいちいち練習問題の答えを板書する必要はなく、答えを発音させて、前に進めます。とても効率が上がります。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について アンケートでは、大多数の学生が80%以上出席と答えていますが、私の出席簿では欠席ゼロ、あるいは1回の学生がかなりいます。 (2) 授業について 「強くそう思う、そう思う」だけに関していうと、授業の準備については78%、教員とのコミュニケーションについては72%です。授業を受けた後の授業の内容への関心も「強くそう思う、そう思う」が79%と、3分の2の学生が満足しています。しかし3分の1が「どちらともいえない、あまりそう思わない」を選んでいます。文法の問題を解いていく単調な授業なのと、効率を上げるため不必要なところは板書しないので、こうした不満が出てくるのかもしれません。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて (4) 自由記述より学生からの要望について ・ 教科書が仏語で書かれているので、板書をして欲しい。 ・ 答えを配って欲しい。口頭だけだと分からないので。 ・ 教室が寒い。エアコンを付けても暖まらない。 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 学生からの要望にもある、板書の問題ですが、簡単な答えすべてを板書していくと、効率が上がりず、必要な文法事項を終えることが出来ません。上級を履修して、大学院の試験をフランス語で受ける学生にとっては、準備ができなくなります。これまでも不規則活用などの動詞は板書しています。練習問題の最後に必ず質問を受け付け、よく聞き取れなかった答えは繰り返しています。分からないところは必ず説明しています。 4 その他、意見								

科目 イタリア語初級Ⅰ

担当 水野 留規

回答した学生 38 名

受講登録者 39 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	9
4 90%くらい	15
3 80%くらい	11
2 70%くらい	2
1 60%以下	1
無回答	0
小計	38

設問	2	3
5 強くそう思う	15	19
4 ややそう思う	11	8
3 どちらともいえない	10	9
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	38	38

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	13
4 ややそう思う	8
3 どちらともいえない	13
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	38

設問	5
5 ほぼ時間どおり	29
4 延長することが多い	6
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	2
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	38

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	17	19	16	17	16	19	18
4 ややそう思う	7	5	5	10	8	13	9
3 どちらともいえない	9	9	8	7	10	4	9
2 あまりそう思わない	4	3	6	3	2	0	2
1 まったくそう思わない	1	1	2	1	1	2	0
無回答	0	1	1	0	1	0	0
小計	38	38	38	38	38	38	38

授業科目	イタリア語初級 I				担当者	水野 留規	
開講時期	通年	曜日	月	時限	3	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 日本人教員とネイティブ教員が役割分担してバランスよく学習できる。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 関心の程度に差があって、教師としては苦勞した。実技が優れていても、語学の素養が低い学生、語学が嫌いな学生は入学してから苦勞する。 (2) 授業について 担当教員の熱意を評価してくれた学生は、おそらく語学が好きな学生であろう。他方において、授業が難しいと答えた学生も数名いたので、語学が苦手な学生に対する配慮を今後いっそうする。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 教え方がよい。 (4) 自由記述より学生からの要望について もっと詳しく教えてほしい。大教室なので声を大きくしてほしい、など。 3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 教材の改善。 4 その他、意見							

科目 イタリア語中級 I

担当 水野 留規

回答した学生 12 名

受講登録者 26 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	2
4 90%くらい	6
3 80%くらい	2
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	12

設問	2	3
5 強くそう思う	3	4
4 ややそう思う	7	6
3 どちらともいえない	2	1
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	4
4 ややそう思う	3
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	10
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	12

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	3	5	4	6	5	4	4
4 ややそう思う	5	4	4	4	4	3	5
3 どちらともいえない	4	3	4	2	2	2	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	1	1	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

授業科目	イタリア語中級 I				担当者	水野 留規	
開講時期	通年	曜日	月	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 シラバスに書いたように文法を学ぶこと。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 2年生が大半。語学の素養が低い学生が数名いたので、高い学生にとってはかわいそうだった。 (2) 授業について やさしく説明するようにした。しかし、暗記すべきことが多く、それが重荷になっていた。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて (4) 自由記述より学生からの要望について 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 学生にとっては、しんどい面もある授業。しかし、語学を学ぶには、そこを通らないといけないので、いかにして楽しく、充実した授業にするかを今後さらに考えたい。 4 その他、意見							

科目 イタリア語上級Ⅱ

担当 水野 留規

回答した学生 7 名

受講登録者 8 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	0
4 90%くらい	4
3 80%くらい	3
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	1	3
4 ややそう思う	4	4
3 どちらともいえない	2	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強くそう思う	3
4 ややそう思う	2
3 どちらともいえない	2
2 あまりそう思わない	0
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	7

設問	5
5 ほぼ時間どおり	4
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	7

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強くそう思う	4	4	4	4	5	2	3
4 ややそう思う	1	2	2	2	1	2	3
3 どちらともいえない	1	1	0	0	0	1	0
2 あまりそう思わない	1	0	1	1	1	0	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	イタリア語上級Ⅱ				担当者	水野 留規	
開講時期	通年	曜日	火	時限	4	アンケート様式	☒ 講義 ☐ 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴 読解中心だが映像鑑賞もやった。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 全員が3年生。教師とのコミュニケーションも良好だった。 (2) 授業について ネイティブの先生にもしばしば来てもらい、発音指導をしてもらった。 出席は少し低かったが教育実習などにかぶったため。 (3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 「ピノッキオ」という楽しい物語を読んだこと。 (4) 自由記述より学生からの要望について 3 今後の授業の工夫・改善（FD） 芸大向きのイタリア語上級教材をいろいろと集め、それらの使用方法を考えたい。 4 その他、意見 この様式に「演習」のチェック欄がない。							